

第 I 部

〔終戦から復帰まで〕

昭和20年～昭和47年



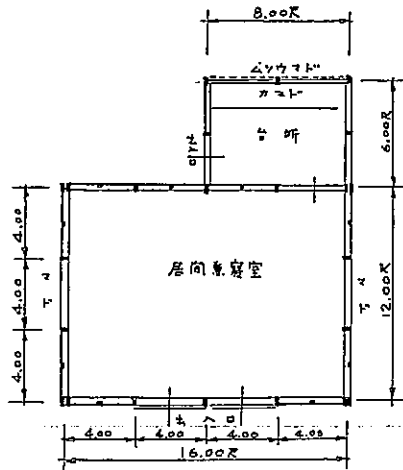
占領時住民の収容所

第 I 部 凡 例

- Ⓔ : 設計者名
- Ⓕ : 施工業者名
- Ⓖ : 建築工事費金額
- Ⓗ : 建築物概要

- 県建築課施工建築物
- ※ 市町村民間施工建築物

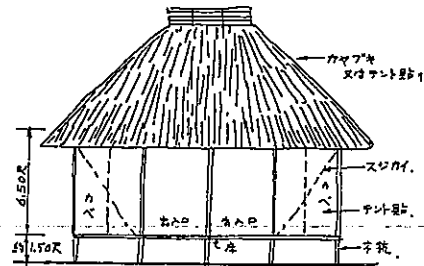
昭和20年 (1945)



平面図

規格住宅復原図

面積 5.33坪
下層 1.33坪 計 6.66坪



正面図

一般社会経済

- 沖縄戦終る。(1945.6.23)
約 100 万戸の住家と公共建築物の大半が灰塵に帰す。
- ポツダム宣言 (1945.8.15) - 終戦 -
- 諮詢委員会発足 (1945.8.20 石川市)

委員 長	志喜屋 孝 信
幹 事	松 岡 政 保
総 務 部 長	又 吉 康 和
法 務 部 長	前 上 門 昇
教 育 部 長	山 城 篤 男
文 化 部 長	当 山 正 堅
公衆衛生部 長	大 宜 味 朝 計

建築関係

- 諮詢委員会に工務部設置さる。(1945.8.29)
部長には松岡政保幹事兼任
- 工務部建築課発足 (初代課長 前田朝信)
建築課出張所の設置 (知念、糸満、石川、首里、前原、名護、コザ、金武、金城)
- 陶器、瓦工業の復興のため、壺屋、牧志に 136 人の男子先遣隊が移動
- 規格住宅の設計なる。
設計 仲座久雄
構造 トウバイホウ (2×4) 組立式茅葺
面積 6坪 (19.8㎡)

昭和21年（1946）



▲ 建築課構作隊知念出張所



▼ テント教室外観

▲ 同内観



一般社会経済

建築関係

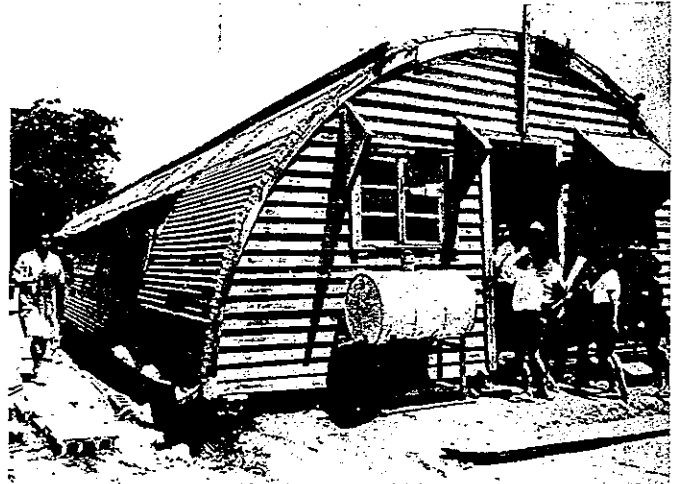
- 行政分離（1946.1.28）
北緯30度以南の南西諸島と日本政府分離
- 沖縄における中央執行機関設置について軍政府より諮詢委員会に指示あり。
- 沖縄民政府創立（1946.4.24 石川市東恩納）
知事 志喜屋孝信
- 通貨交換 旧日本円→B円（1946.4.15～4.28）
交換総額 全琉173,485,769円（沖縄62,389,115円）
- 住民の元居住地への移動許可される。（1946.4）
- 農村復興計画予算（15,000,000 B円）許可
- 沖縄中央銀行創立（後の琉球銀行 1946.5.1）
- 第2回通貨交換（沖縄本島のみ 1946.8.15）
B軍票→日本新円
- 日本本土より引揚第1船入る。（1946.8.17）
- 本土との通信開始（1946.9.10）
- 沖縄民政府知念へ移動（現佐敷町 1946.10.17）

- 沖縄民政府に工務部構作隊本部（安謝）を設置し、第1構作隊（安謝）、第2構作隊（壺屋）、第3構作隊（安謝）、第4構作隊（首里）が組織され、又安謝、勝連、金武湾（具志川）、金武に建築資材集積所を設置し、規格住宅や校舎役場、保健所、駐在所等が優先的に建設される。
- 具志川村田場に文教学校開校（1946.1.10）
- 具志川村田場に警察学校設置（1946.2.1）
- コザ中央病院（コンセット造り）

昭和22年（1947）



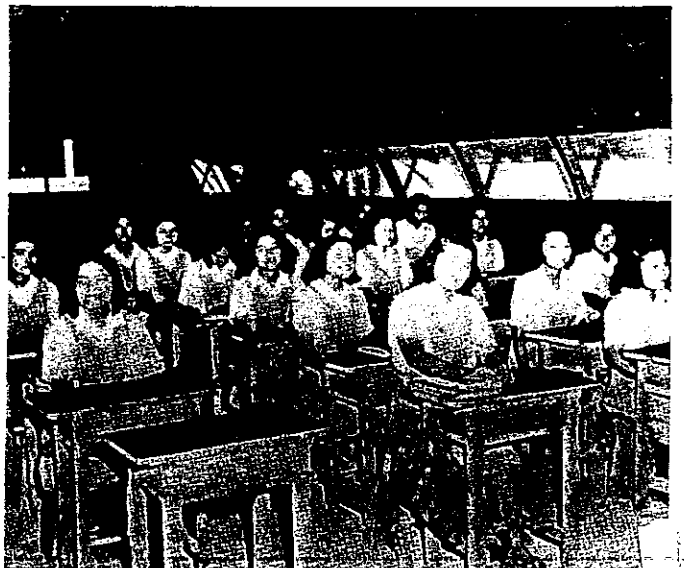
▲ 葺茅校舎外観



▲ コンセット校舎外観



▲ 内観



▲ 内観

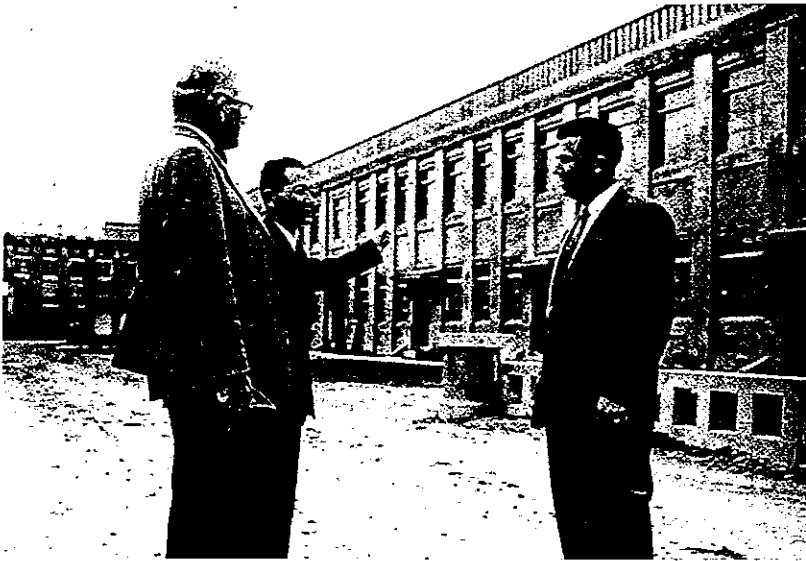
一般社会経済

- 税制の実施（1947.4.1）
- 沖縄工業協会創立（1947.4.15）
- 公営バス創立（1947.8.16）

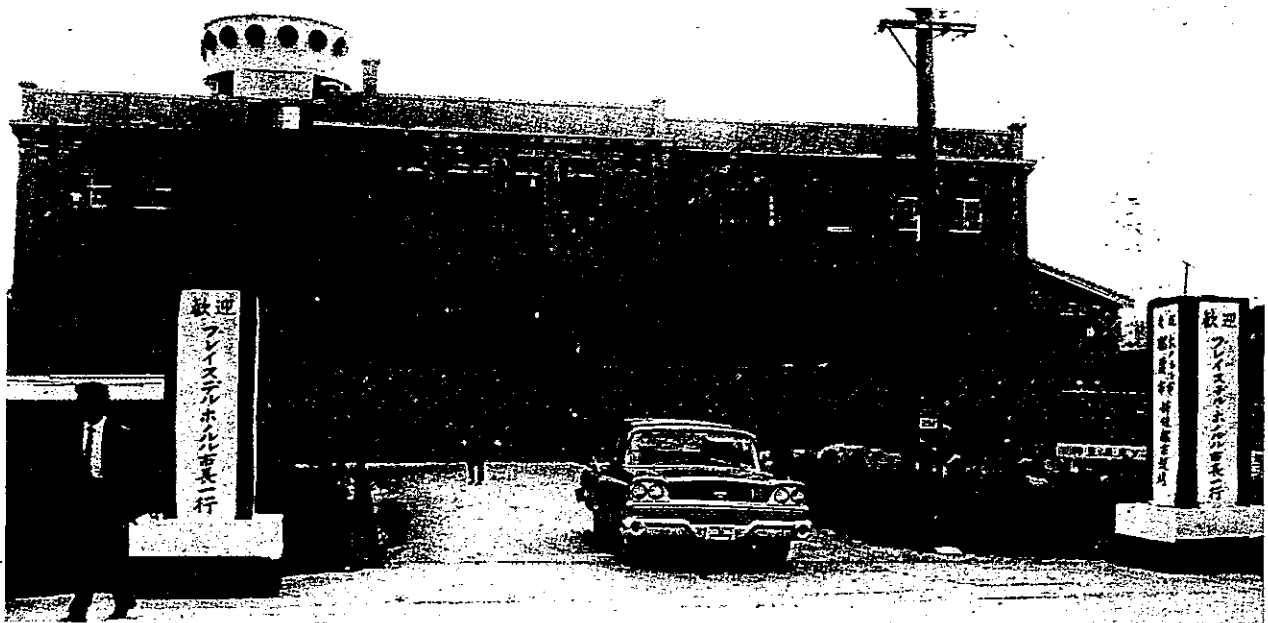
建築関係

- 規格住宅の各市町村への供給
- 天幕や葺茅校舎の建設はじまる。
- 愛楽園規格病舎 300 棟完了（葺茅）
- 壺屋町牧志において赤瓦の製造開始

昭和23年（1948）



▼旧天妃小学校 ▲上山国民学校 ▶回復旧前後



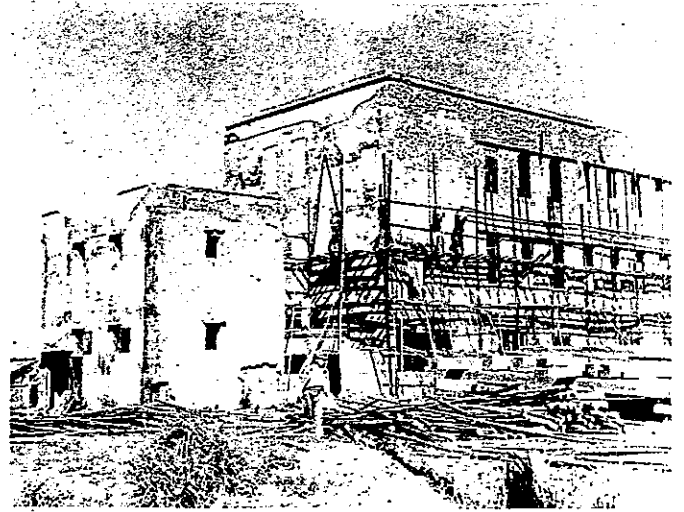
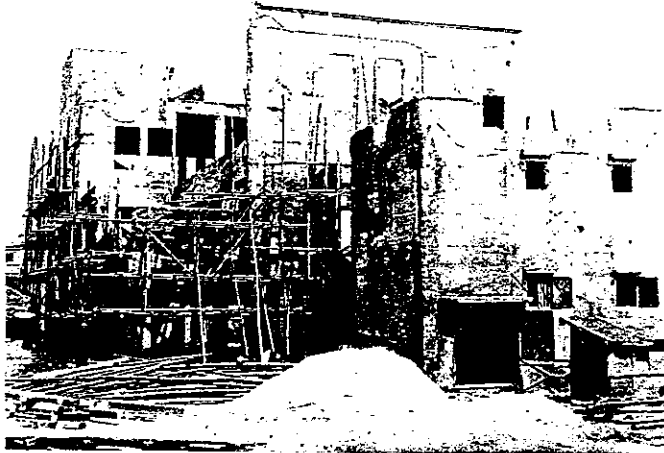
一般社会経済

建築関係

- 新選挙法により市町村長選挙（1948. 2. 1）
- 琉球銀行創立（沖縄中央銀行閉鎖1948. 5. 1）
- 第3回通貨交換実施（1948. 7. 16～7. 20）
日本新円→B円軍票
交換総額 360,000,000円
- 自由企業制度の実施（1948. 11. 1）

- 戦災復旧工事
 - 旧那覇警察署（RC 2F. 赤瓦葺）
 - 旧勤業銀行那覇支店（RC. 2F）→琉球銀行
 - 旧第147銀行那覇支店（RC. 2F）→琉球銀行
 - 旧上山国民学校（RC. 2F）→米国民政府
 - 旧天妃小学校（RC. 2F）→沖縄民政府→那覇市役所
 - 旧泊国民学校等各小学校
- 米国軍政府特別布告第32号「企業の登録並びに免許に関する事項」
公布→土木建築請負の認可（1948. 10. 26）
- 奥田幸一氏設計事務所開設（戦後第1号）→佐敷村字新里

昭和24年（1949）



▲ 旧丸山号復旧工事

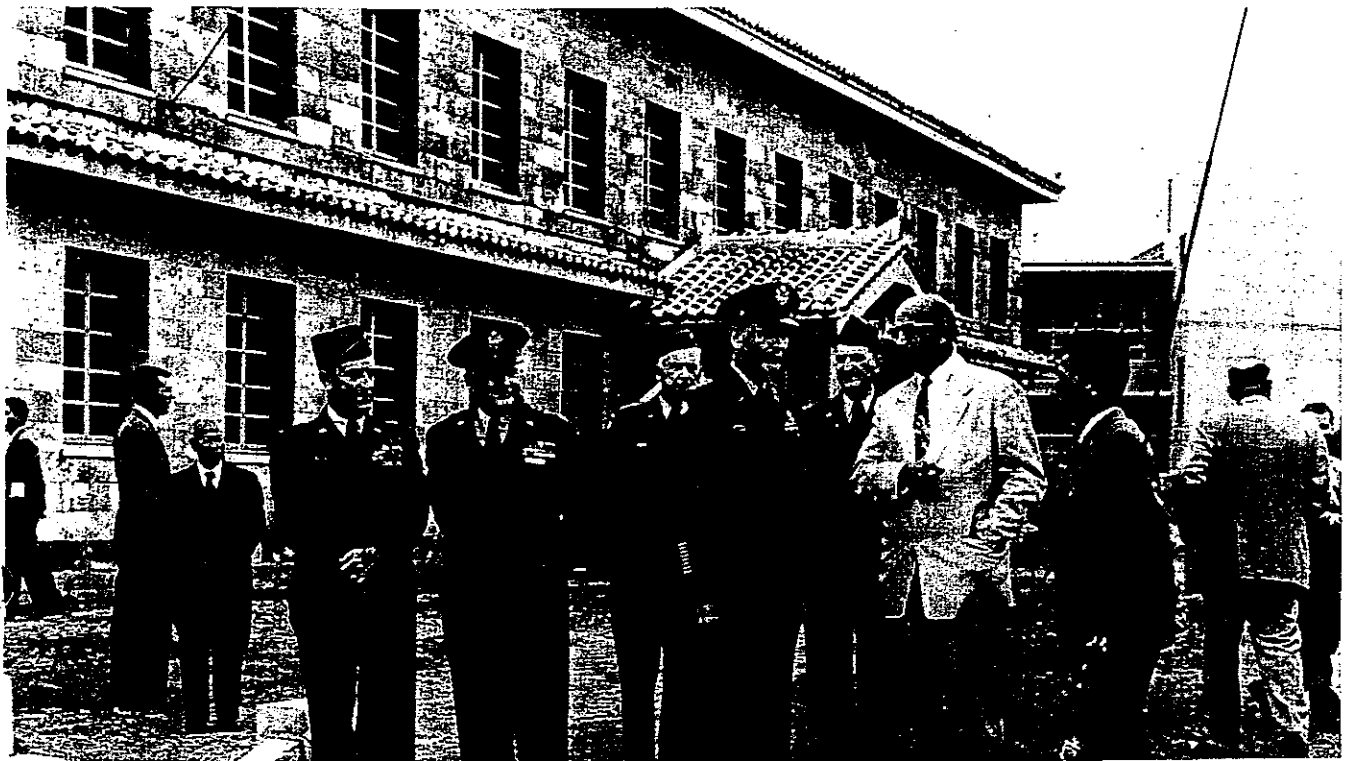
一般社会経済

- 沖縄軍政官府新設（1949. 4. 11）
- 沖縄民政府那覇市へ移転（1949. 12. 1）
- 教育長制実施（1949. 12. 9）
- 沖縄民政府機構改革（1局9部 1949. 12. 28）
- 日本政府沖縄への旅券発行開始

建築関係

- 建築課構作隊廃止（規格住宅73,500戸完了）
- 復旧工事
 - 旧那覇電話局（RC. 2F）→米国民政府
 - 旧丸山号百貨店（RC. 3F）→米国軍政府→琉球政府立法院
 - 旧大典寺少年保護院（RC. 2F）→工務部
- 沖縄土木建築請負組合創立
- 各地に木造赤瓦葺公共建築及び校舎建築開始

昭和25年（1950）



▲ 琉大本館 ▼

▼ 玉城小学校



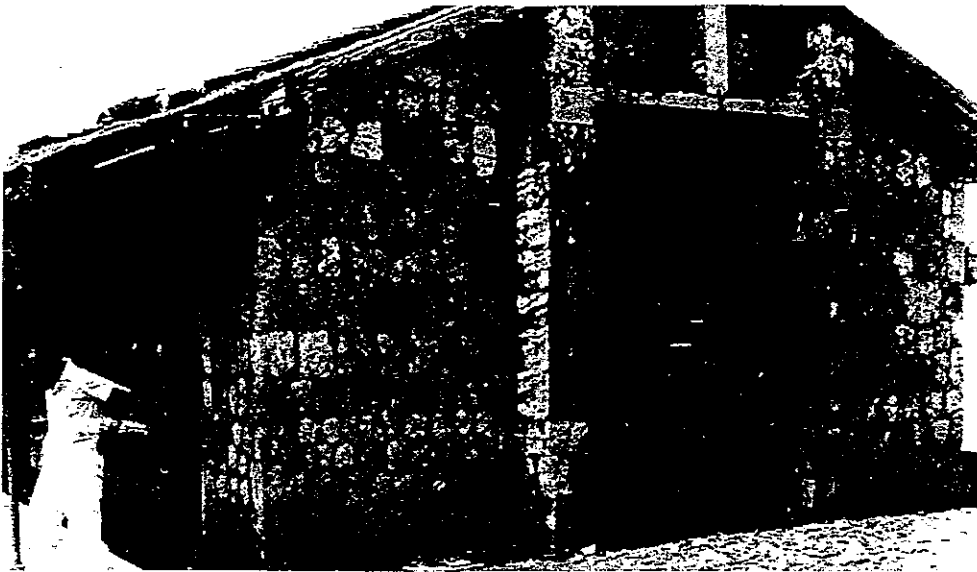
一般社会経済

建築関係

- 南部地区オフリミット解除（1950.1.14）
- 公営バス解消→民間バス会社創立（1950.3.31）
- タクシー会社発足（1950.4）
- 琉球放送局放送開始
- 沖縄商工会議所設立
- 軍政府通貨レートB軍票120円対1ドルとする。（1950.4.12）
- 復興金融基金業務開始（1950.6.10）
- 沖縄群島政府創立（1950.11.4）
- 琉球軍政府を米国琉球民政府に改称（1950.12.15）
- ※ 朝鮮動乱勃発（1950.6）→米軍基地建設の隆盛→本土業者の沖縄進出

- 工務交通部大典寺跡に移転（1950.1.4）
- 米軍施設に空洞コンクリートブロックが採用され、民間でも製造が始まる。（宮城薫2月）
- 初の国際入札実施（1950.4.8）
- 建築基準法、同土法公布（1950.5.24）
- 戦災復旧工事 旧糸満国民学校舎他30棟
- 琉球大学本館（栗石造赤瓦葺2階建、100坪）及び校舎（木造平屋赤瓦葺35坪5棟、37坪3棟）、図書館（木造平屋赤瓦葺78坪）、便所施設、その他→国場組（1950.5）
- 玉城国民学校（石造2F RCスラブ）
- 各地に郵便局（木造赤瓦葺）庁舎建設
- 沖縄住宅公社調印（1950.5.17）

昭和26年（1951）



◀ 石造校舎



▼ 煉瓦校舎

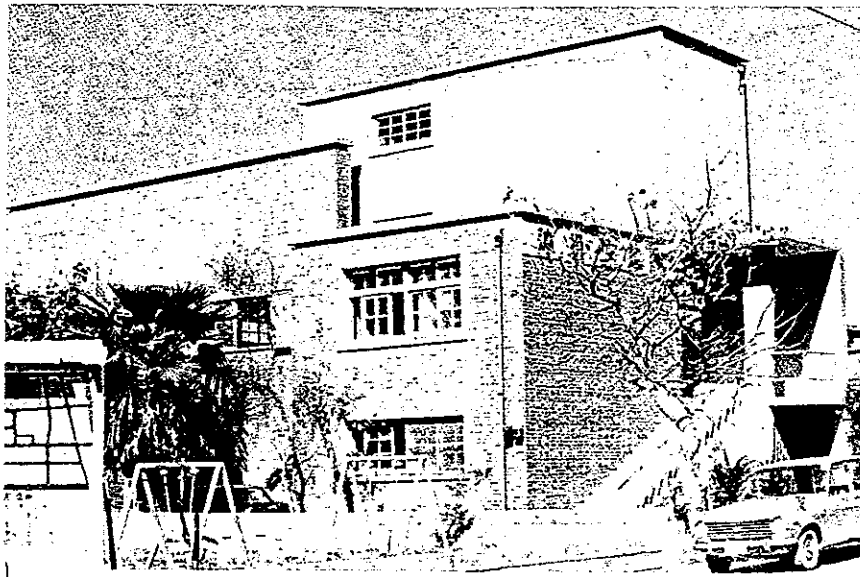
一般社会経済

- 琉球大学開学式典（1951. 2. 12）
- 琉球臨時中央政府開庁式（1951. 4. 1）
- 沖縄本島における土地所有権証明書交付開始（1951. 4. 6）
- 協同組合法公布（1951. 5. 24）
- 琉球商工会議所発足（1951. 6. 20）
- 軍票対ドル交換実施さる（1951. 6. 20～）
- 米軍人の住居地域への立入禁止の解除（1951. 9. 14）
- 奄美群島の日本領土復帰（1951. 11. 24）
- 米国の琉球に対するガリオア援助資金予算
1952年度 10,761,783ドル（1951. 12. 27）

建築関係

- 那覇、コザ、名護保健所建設
- 那覇、石川、名護、八重山文化会館建設
- 壁体石造（現地産調達）、煉瓦造、コンクリートブロック造赤瓦葺校舎沖縄全域にかけて112棟建設
- ※戦後民間初のRC造3階建ビル建設（設計ライト工務店）支持杭に松丸太打込み

昭和27年 (1952)



◀ 沖縄会館

▼ 那覇港ターミナル



一般社会経済

- 日本政府琉球向杉輸出を解禁する (1952.1.31)
- 琉球政府発足 (1952.4.8)
初代行政主席 比嘉 秀平
- 軍政府日の丸掲揚を許可する (1952.4.9)
- 米国政府对日平和条約発効 (1952.4.28)
- 日本政府総理府に南方連絡事務所開設 (7.1)
- 日本政府那覇に南方連絡事務所設置 (8.13)
- 軍予算による1号線 (現国道58号線) 施工発表
全長 60 km、工費 82,000,000 B円
- 1953年度ガリオア援助資金 911万ドル

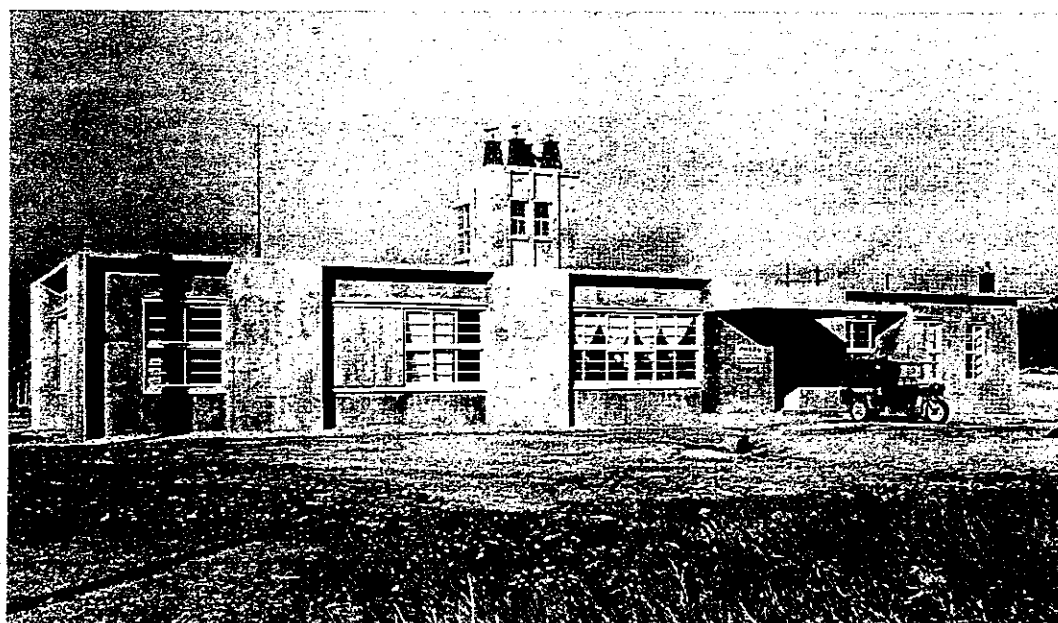
建築関係

- 工事執行法 (立法第46号) 制定 → 公共工事の入札実施 (1952.10.13)
- 沖縄群島建築基準条令を建築基準法 (立法第65号) として公布 (1952.12.15)
- 旧勸業銀行支店社宅2棟復旧工事 (RC造) → 南方連絡事務所
- 琉球大学特別教室 (1952.9.2) (費) 980万B円、(坪) 426.5坪 RCB造
- 沖縄中央病院
- 八重山保健所
- 沖縄会館 (施工 国場組 1952.6)
- 少年刑務所
- 那覇港ターミナルビル (施工 - 金城カンパニー)

昭和28年 (1953)



◀ 中央郵便局



琉球気象台 ▶

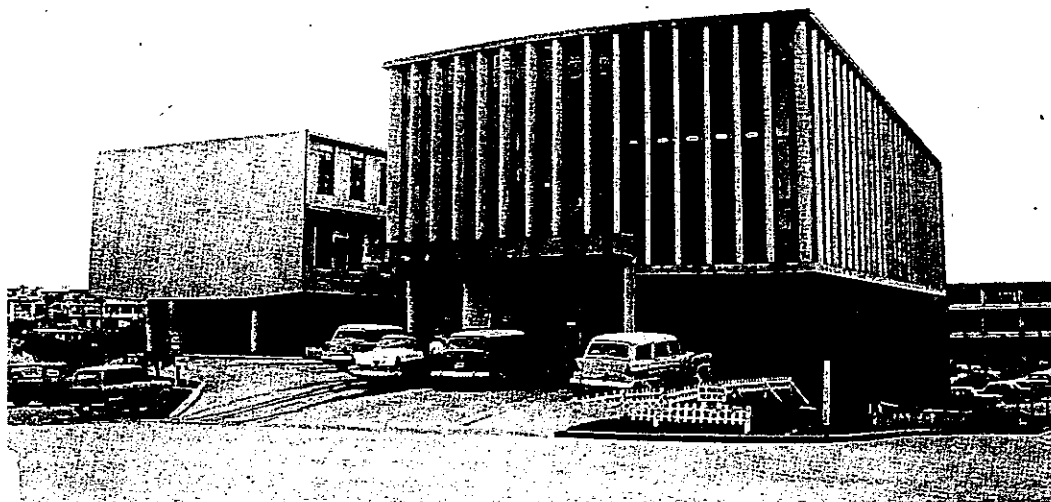
一般社会経済

- 琉球政府主席の選挙法公布 (立法第3号 1.19)
- ガリオア援助資金総額 (1947~1953年度計)
192,458,000ドル
- 校舎復旧費総額 (1947~1953.1.30) 328,447,000 B円
- 奄美大島本土復帰 (1953.12.25)
- ※米国民政府令第117号による建築制限
舗装道路 (歩車道の区分なし) の端部から、四車線道の場合7.5M、
二車線道の場合6Mのうち道路側3Mを駐車スペースとし残りを歩
行スペースとするため建築が禁止され、建築基準法と併用された。

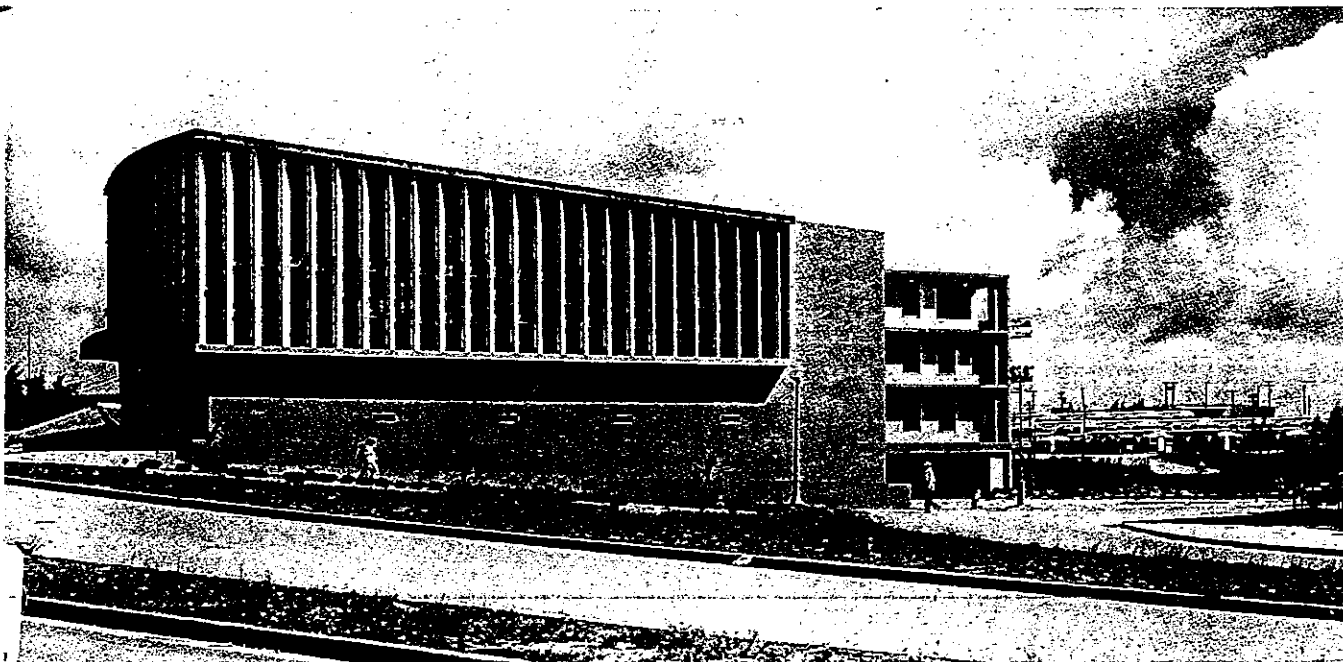
建築関係

- 建築士法制定 (立法第87号)
- 工務局を工務交通局に、計画技術課を建築課に改称 (1953.3.5)
- 立法院ビル設計競技実施
- 行政府ビル竣工 (1953.4)
設計-松田平田設計事務所、施工-国場組
構造-R・C造地上4階地下1階、総工費100万ドル以上
- 崇元寺石門修復 (1953.5)
- ペルリ記念会館竣工 (1953.5)
- 那覇中央郵便局竣工 (1953.11) →工務交通局
Ⓢ国場組 Ⓢ 34,950,000 B円 Ⓢ RC造1,731坪
- 沖縄赤十字病院竣工 (1953.11) 施工-善太郎組
- 琉球気象台庁舎 (1953.12.1) Ⓢ 2,138,000 B円 Ⓢ RC造129.5坪
- 首里博物館
- 警察学校舎 Ⓢ 4,035,982 B円 Ⓢ RC造280坪
- 愛楽園病棟、独身寮 Ⓢ 3,920,000 B円 Ⓢ RC造332坪
- ※ 琉球新報社社屋竣工 (1953.11) 施工-国場組

昭和29年 (1954)



◀ 立法院ビル



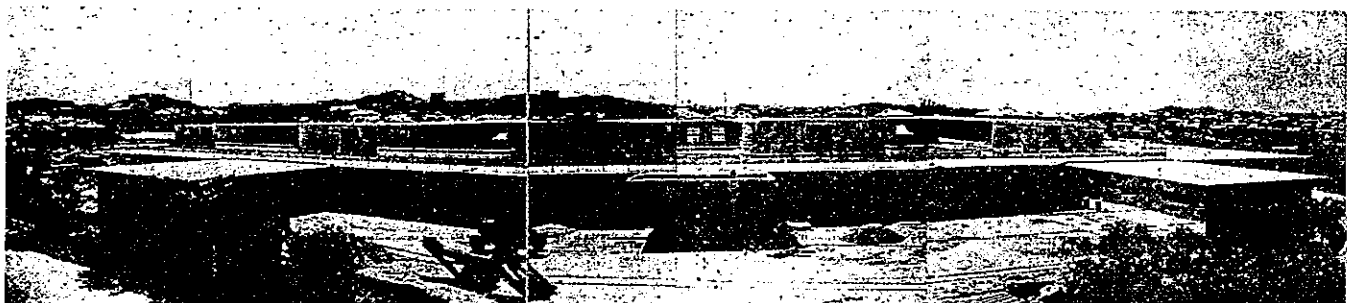
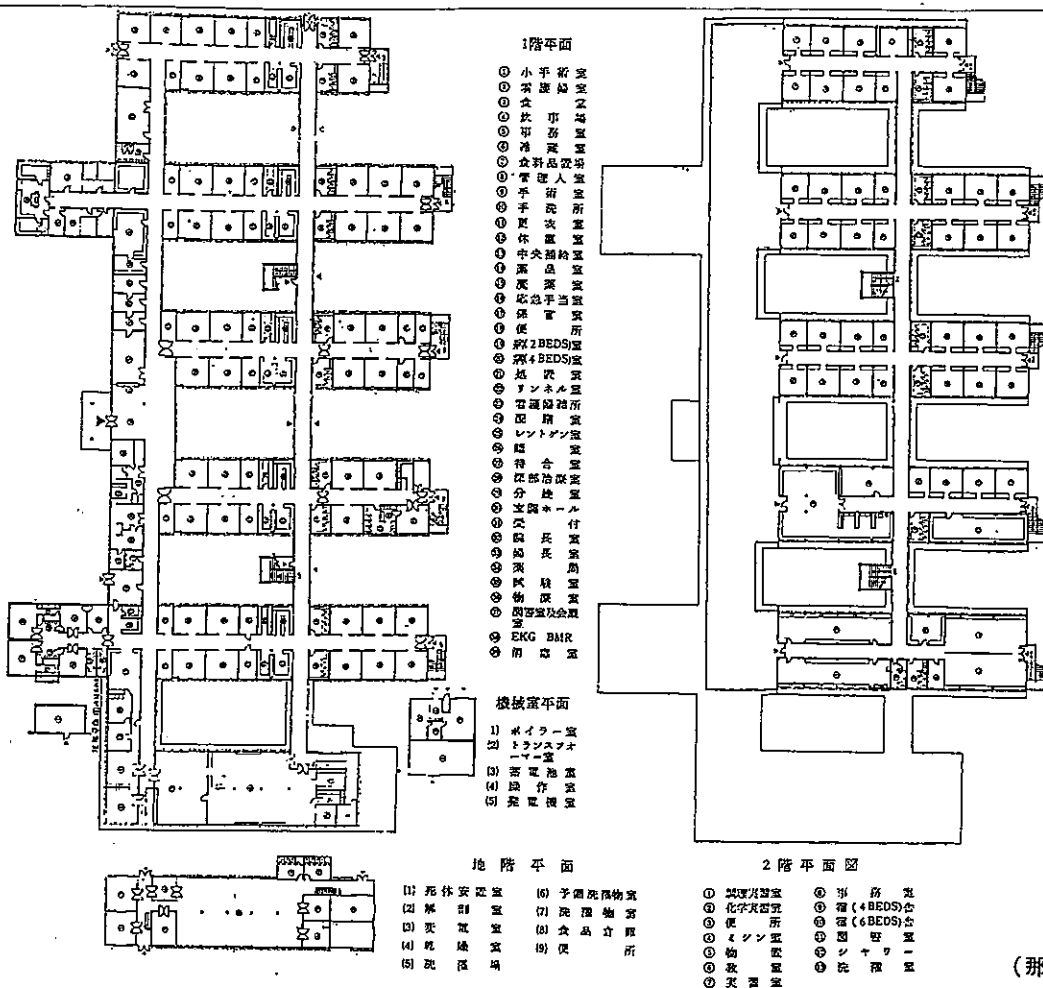
一般社会経済

- 米国議会で1955年度対琉ガリオア援助資金3,100,000ドルを承認 (1954. 7. 13)
- 大衆金融公庫法公布 (1954. 9. 8)
- 銀行法公布 (1954. 10. 29)
- 那覇一名護間1号線舗装工事完成 (1954. 7)
- 那覇市国際通り舗装工事完成 (1954. 12. 5)
施工一國場組、総工費—30,156,000 B円

建築関係

- 建築基準法、建築士法の公布 (1954. 11)
一級建築士48名、二級建築士138名を選考
- 立法院ビル竣工 (1953. 8. 3～1954. 7. 26) ④大城龍太郎、⑤大政組、⑥22,150,000 B円、⑦RC造692坪
- 子供博物館竣工 (1954. 8)
設計—仲座久雄、竣工—金城カンパニー
- 南部税務署 (1945. 3. 5～9. 25)
施工—金城カンパニー、工事費—5,491,415 B円、概要—RCB造290.75坪及び倉庫76坪
- 南静園病棟及び園長官舎—RCB造228坪、施工—金城組、工事費—3,141,000 B円
- 琉球大学男子寮 (1953. 9. 23～1954. 2. 16)
施工—大政組、工事費—7,630,000 B円、施工監理費—100,000 B円、⑧RC造507坪
- 主席公舎竣工 (1954. 6～1954. 12)
- 金武精神病院 ⑨4,310,000 B円、⑩RC造286.5坪
- 沖縄教職員会館

昭和30年 (1955)



一般社会経済

- 琉球政府統計—総人口 786,000 人 (1955. 4. 4)
- 1956年度琉球政府予算 1,963,520,000 B円、民政府より承認 (1955. 5. 25)
- 牧港発電施設及び送電施設を軍から琉球電力社に移管 (1955.8.19)
- 建設業法 (立法第 23 号) 公布 (1955. 7. 8)
- 琉球土木建築請負業協会は琉球建設業協会と改称 (1955. 10)
- 鉄鋼材 1,528 トンの輸入を日本政府承認 (1955. 12. 9)
- ※由美子ちゃん事件発生 (1955. 9. 3)

建築関係

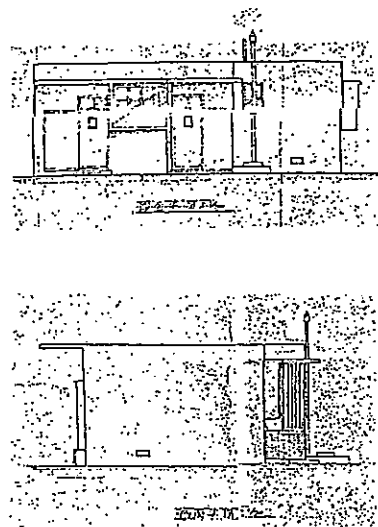
- 沖縄建築設計監理協会創立 (1955. 7. 17)
- 沖縄建築士会創立 (1955. 12. 17)
- <主要工事>
- 那覇開放性病院第 1 期工事 (1955. 2 ~ 1955. 12) ① 基本設計—

- 米国公衆衛生局、②実施設計—建築課、③敷地面積 5,000 余坪、④ R C造 2階 664.1 坪、⑤施工本館—小波津組、附属棟—金城組、電気—琉電社、衛生—桐和商会、整地—平城工務店
- ※建設業協会ビル (1955.) ⑥大城龍太郎、⑦大政組、⑧ R C造 3階
- ※グランドオリオン座 (1955.) ⑨ライト工務店、⑩田嘉里組
- ⑪ R C造
- ※国映館 (1955. 10) ⑫国場組、⑬ 234,000,000 B円
- 牧志郵便局 (1955. 10. 28) ⑭建築課、⑮伊礼組、⑯ R C造 2階 56.7 坪
- 美栄橋郵便局 (1955. 6. 10) ⑰日新工務店、⑱高江組、⑲ R C造 2階 75.37 坪
- ※琉球放送首里スタジオ (1955.) ⑲仲座久雄、⑳大政組、㉑ R C造 2階
- ※那覇航空隊大格納庫 (1955. 10) ㉒国場組、㉓ 90 Mスパン
- 琉球大学志喜屋図書館 (1955. 12) ⑳仲座久雄、㉔国場組、㉕ R C造 5階

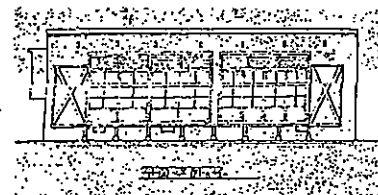
昭和31年 (1956)



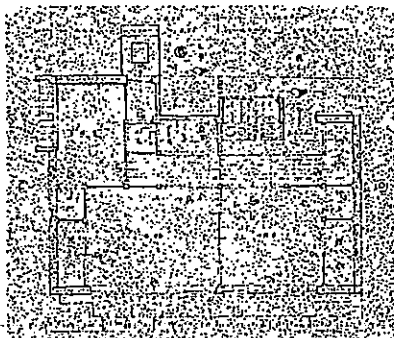
▼コザ（越来）郵便局



▲若狭住宅▶



(立面図)



(平面図)

一般社会経済

- 那覇都市計画区域の決定 (1956. 2. 20)
- 台風エマによる被害 (警察保安課発表) 9. 8
建物倒壊 8,653 棟、船舶被害 27 隻、道路流失 839 m、堤防流出 9,482 m、農作物被害 55 万
- 1956 年度住民所得推計 (琉球政府経済企画室)
総計 15,051,240,000 (B円)
1人当り所得 18,813 (B円)

建築関係

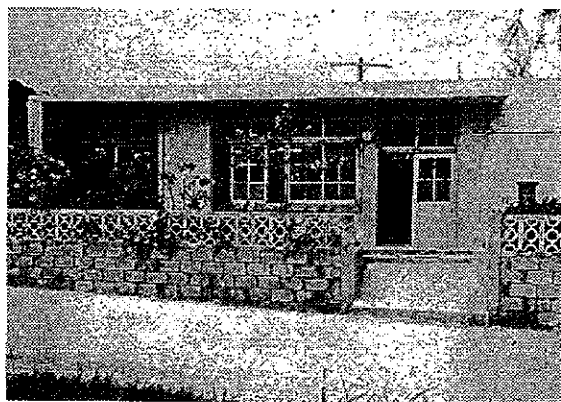
<主要工事>

- 園比屋武御嶽石門復元 (1956. 6) ① 150 万 B円、② 文化財保護委員会
- 那覇市営住宅竣工 (若狭平屋 24 戸、3 階 96 戸) — (1956. 12)
- 山形屋デパート竣工、③ 仲地組、④ 太陽工務店
- 司法ビル (1956. 5. 18) ⑤ 仲座久雄、大城龍太郎、八幸土建、ライト工務店—建築課共同、⑥ 国場組、⑦ R C 造 3 階
- ※琉球生命ビル (1956.) ⑧ 入幸土建、⑨ 国場組、⑩ R C 造 5 階
- ※沖縄製粉会社 (1956.) ⑪ ライト工務店、⑫ 国場組、大城組、小波津組、⑬ R C 造 5 階
- ※仲座久雄建築事務所 (1956.) ⑭ 仲座久雄

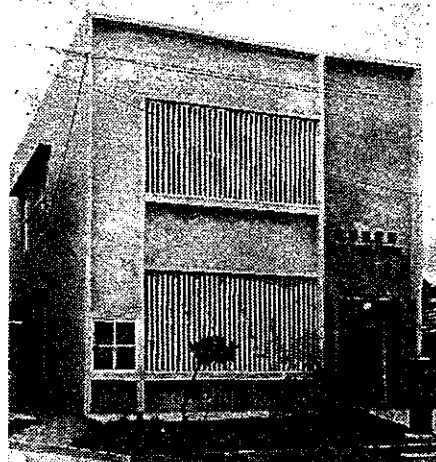
昭和32年 (1957)



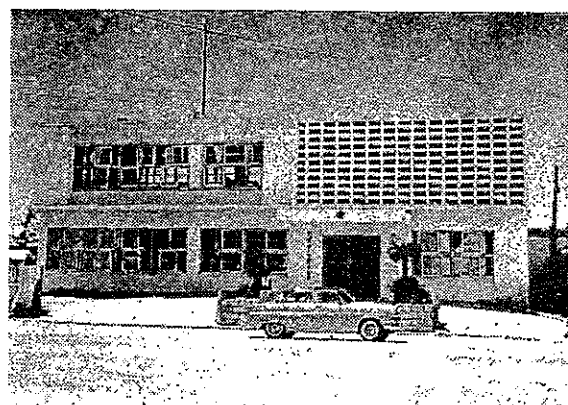
◀ 八重山郵便局



▲ 知念郵便局



▲ 名護郵便局



▲ 普天間地区警察署

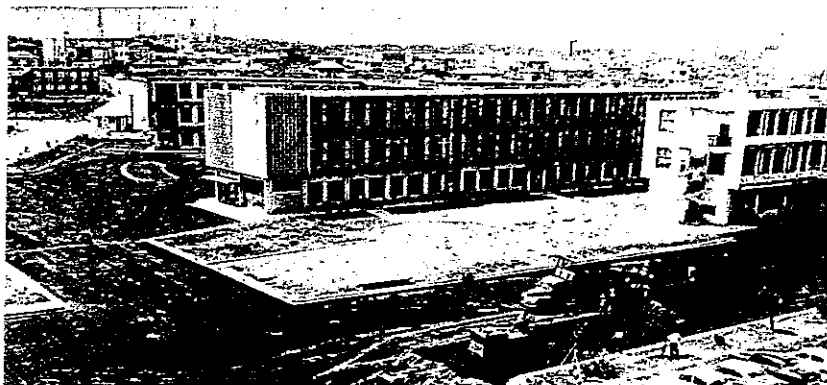
一般社会経済

- 極東軍指令部より台風復旧援助費 127 万ドルの追加割当米国議会承認 (1957. 1. 1)
 - 琉球高等弁務官制度の実施 (アイゼンハワー大統領) → 主席の任命制 (1957. 6. 5)
 - 琉球政府立公園法公布 (1957. 8. 30)
 - 民政府エム台風住宅復興資金として 200 万ドル (240,000,000 B 円) の支出発表 (1957. 8. 3)
 - 台風フェイ瞬間最大風速 61.4 M を記録 (1957. 9. 25)
 - 全琉の軍用地面積 42,700 エーカー (52,266,355 坪) (1957. 10. 28) 一軍用地連合会
 - 1957 年度住民所得総額 16,632 百万 B 円
1 人当所得 20,033 B 円
 - 沖縄～宮古、宮古～八重山無線電話開通 (1957. 12. 28)
 - 山田真山画伯「平和観音像」制作着手 (1957. 5)
- ※戦後はじめて建築行政指導のため建設省技官 (前川喜寛) 来沖

建築関係

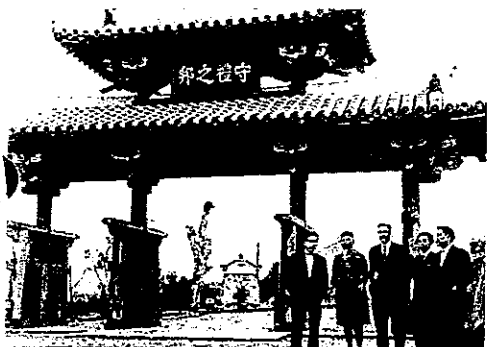
- 守礼門復元工事指導のため日本文化財保護委員調査官森政三来島 (1957. 7)
- ◁ 主要工事 ▷
- 知念郵便局 (1957. 1) 設 建築課、施 外間組、建 R C 造平屋 24 坪
- 名護郵便局 (1957.) 設 日新工務店、施 比嘉組、建 R C 造 2 階 84 坪
- 八重山中央郵便局 (1957. 12) 設 ライト工務店、施 八重山興発、建 R C 造 2 階 200 坪
- 金武精神病院 (1957.) 設 建築課、施 松岡建設、大丸建設、建 R C 造平屋 151.9 坪
- 普天間地区警察署 (1957.) 設 建築課、施 読谷共進、建 R C 造 2 階 138.4 坪
- 嘉手納地区警察署 (1957.) 設 建築課、施 石川良徳、建 R C 造 2 階 133.15 坪
- 宮古水産高校 (1957. 9. 2)
- 宮古多良間村水納島灯台 (1957. 10. 28)
- ※ 沖縄タイムス社屋 (1957. 7) 設 宮平建築設計事務所、施 国場組、建 R C 造 3 階
- ※ 沖映館 (1957. 12) 設 宮平建築設計事務所、施 前田組、建 R C 造
- ※ 大越百貨店 (1957.) 設 ライト工務店、施 大城組、建 R C 造 3 階
- ※ 第 1 相互銀行 (1957.) 設 大城龍太郎、施 国場組、建 R C 造 3 階
- ※ 岸本ビル (1932.) 設 施 仲地組、建 R C 造 4 階

昭和33年 (1958)

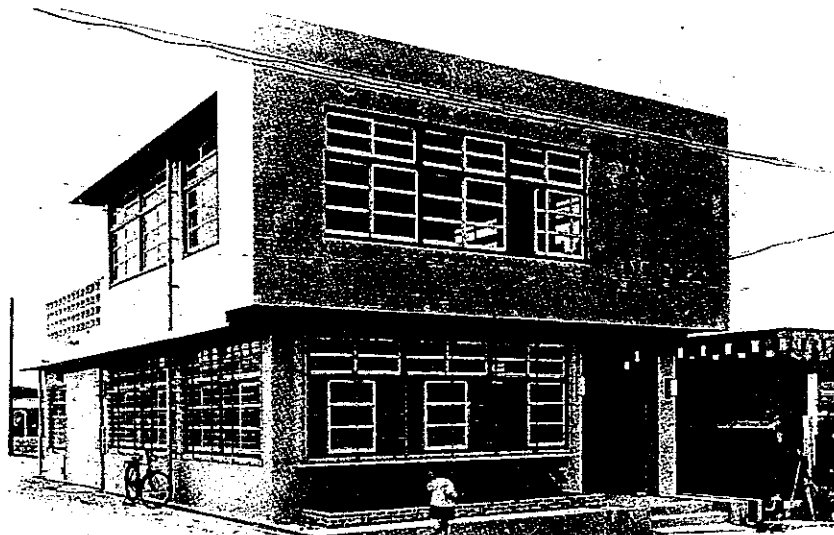


▲ 北部土木事務所

◀ 第2行政ビル



▲ 守札門



糸満郵便局 ▶

一般社会経済

- 通貨交換 (120 B円—1 ドル) 実施 (1958. 9. 16 ~ 9. 20)、交換高 16 億 7 百万円 (13,398,489 ドル)
- 琉球水道公社設立 (1958. 9. 4)
- 米国より追加補助金として、(1) 琉大女子寮建設費 (19 万ドル)、(2) 警察刑務所施設費 (17 万ドル)、(3) 結核管理費 (16 万 5 千ドル)、交付 (1958. 11. 6)
- 当年より一級建築士及び建築主事試験を建設省が実施することになる。
- 当年より二級建築士試験は九州ブロックの客員扱いとして同一問題で実施することになる。

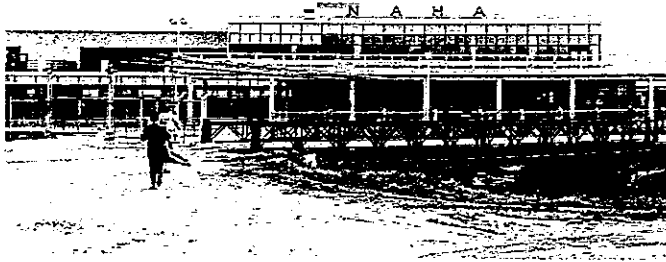
建築関係

〈主要工事〉

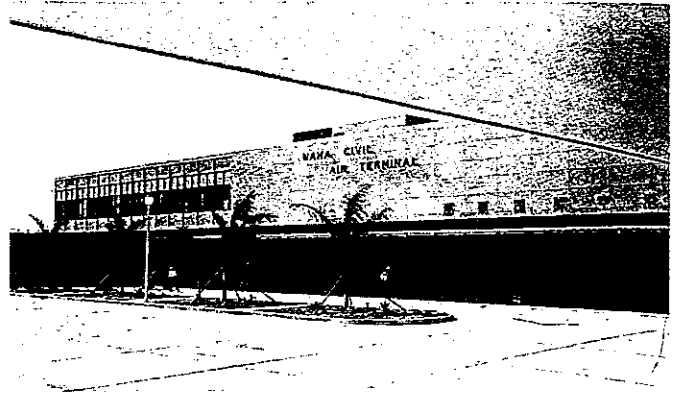
- 第2行政ビル (1958. 9) 設 建築課、施 国場組、費 41,764,218 B円、建 R.C造 3階 1,643.8 坪
- 那覇登記所 (1958.) 設 許田工務店、施 小波津組、建 R.C造 3階 248.02 坪
- 国頭裁判所 (1958.) 設 具志堅工務店、施 仲地組、建 R.C造 2階 145 坪
- 北部工務出張所 (1958.) 設 ライト工務店、施 上原組、建 R.C造 2階 56 坪

- 琉球衛生研究所 (1958. 6) 設 建築課、施 小波津組、建 R.C造 3階 320.7 坪
- 金武保養院事務所 (1958.) 設 大城龍太郎、施 善太郎組、建 R.C造平屋 117 坪
- 宮古療養所 (1958.) 設 建築課、施 宮古建設、費 1,900 万 B円、建 R.C造 900 坪
- 八重山結核療養所 (1958.) 設 建築課、施 武田工務店、建 13,100,000 B円、建 R.C造
- 佐敷郵便局 (1958. 4) 設 建築課、施 与那嶺正孝、建 R.C造 21.8 坪
- 具志頭郵便局 (1958.) 設 具志堅工務店、施 浜田組、建 R.C造 2階 25.5 坪
- 与那原郵便局 (1958. 5) 設 建築課 施 照屋組 建 R.C造平屋 26.7 坪
- 宮古中央郵便局 (1958. 6) 設 日新工務店 施 上地組 建 R.C造 2階 168.08 坪
- 糸満郵便局 (1958. 11) 設 具志堅工務店 施 稲工建設 建 R.C造 2階 50.22 坪
- 玉城郵便局 (1958.) 設 仲座久雄 施 高良組 建 R.C造平屋 28 坪
- 石川市消防署 (1958.) 設 建築課 施 松三組 建 R.C造 2階 26.7 坪
- 守札の門復元 (1958. 8. 1 ~ 1958. 10. 15) 設 守札門復元期成会 施 大工—知念朝栄、絵画彫刻—金武朝健、石工—山城正頭、屋根—島袋仁和、額—長嶺但貴 (指導) 森政三 費 23,514 \$ 20 ♪
- ※識名霊園納骨堂 (1958. 3. 1) 設 仲座久雄
- ※泊港ターミナルビル (1958.) 設 那覇市 施 善太郎組
- ※与那原教会 (1958. 7.) 建 R.C造平屋 (一部 2階)

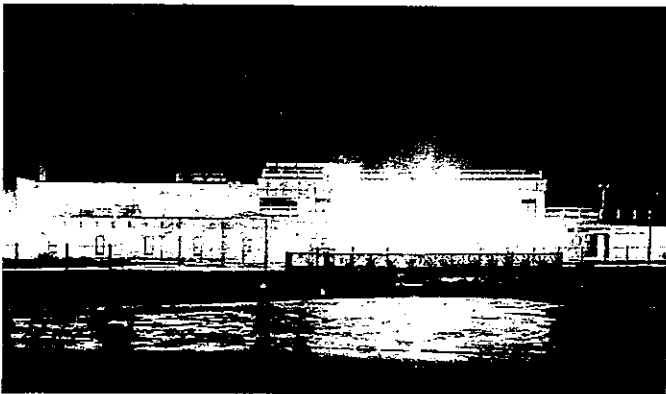
昭和34年 (1959)



▲ 那覇空港ターミナル



▲ 那覇空港ターミナル正面玄関



▲ 同上夜景



▲ 同上内部

一般社会経済

- 石川市宮森小学校に米軍ジェット機墜落 死者17人、負傷121人 (1959.6.30)
- 台風サラ宮古島において瞬間最大風速64.8mを記録、死者6人、負傷75人、家屋全壊、4,889棟半壊3,225棟、農作物等被害総計660万ドル、宮古島台風と命名
- 自由貿易地域ガリオア倉庫2棟で発足 (1959.10.1)
- 台風シャーロット沖繩本島で瞬間最大風速53.2m、雨量559.3ミリを記録、死者46名、負傷者25名を出す (1959.10.16~10.17)
- 布令第29号により「琉球復興基金」にかえて「琉球開発資金公社」発足 (1959.10.3) 総裁-瀬長 浩氏
- 沖繩建設新聞創刊 (1959.10)
- 沖繩テレビ開局 (1959.11.1)
- 琉球セメント(株)設立

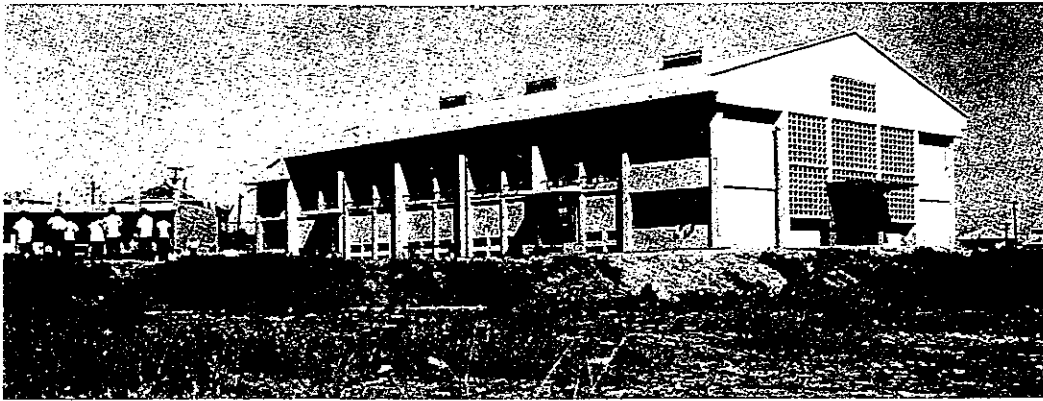
建築関係

〈主要工事〉

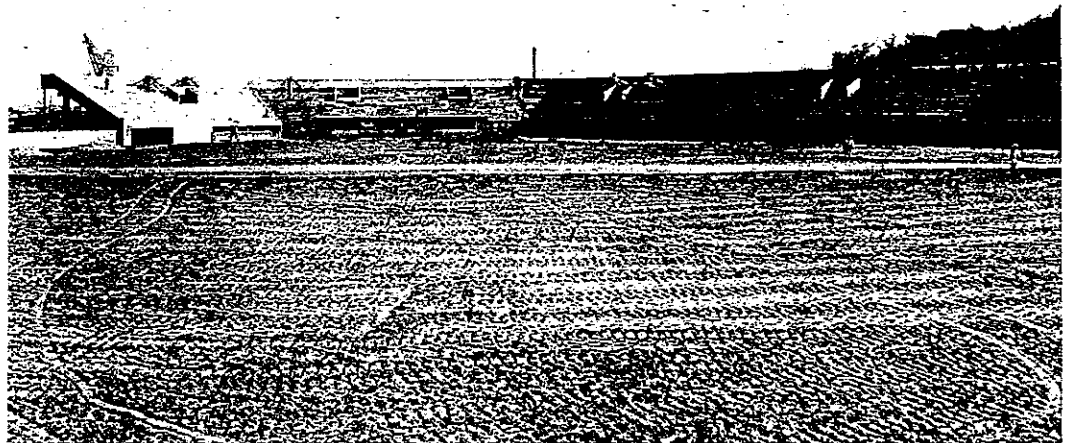
- 琉球政府警察庁舎 (1957.7) 設 ライト工務店 施 沖繩実業 費 139,719ドル 建 R.C造3階671.5坪
- 琉球税関庁舎 (1959.8) 設 建築課 施 前田組 費 52,410ドル 建 R.C造3階222坪

- 那覇空港ターミナル (1959.5) 設 宮平設計事務所 施 大城組 建 R.C造2階1,100坪
- 金武保養院 (1959.) 設 建築課 施 沖繩工業、太田組、善太郎組 建 木造赤瓦葺、R.C造 397.75坪
- 糸満結核化学研究所 (1959.7) 設 具志堅工務店 施 沖繩実業 費 71,500ドル 建 木造瓦葺平屋 565.76坪
- 八重山病院 (1959.7) 費 123,970ドル 建 R.C造 745.5坪
- 宮古結核療養所 (1959.4) 設 大城龍太郎 施 小波津組 費 134,416ドル 建 R.C造平屋 745.5坪
- 那覇商業高校体育館 (1959.7) 設 建築課 施 松三組 建 R.C造S屋根 344坪
- 琉大女子寮 (1959.) 施 南洋土建 費 165,000ドル 建 R.C造 2,532坪
- 大衆金融公庫ビル (1959.7) 設 ライト工務店 施 大宜味組 建 R.C造2階145.3坪
- 那覇消防署ビル (1959.3) 設 宮平設計事務所 施 大宜味組 建 R.C造2階塔屋5階147.3坪
- ※沖繩配電ビル (1959.3.27) 設 我那覇設計事務所 施 国場組 費 294,166ドル 建 R.C造4階945坪
- ※オリオンビール (1959.5) 設 ライト工務店 施 大城組、国場組 建 R.C造5階他1,645坪
- ※那覇バスターミナル (1959.6) 設 太陽工務店 施 善太郎組 建 R.C造2階506.5坪
- ※琉球放送会館 (1959.6) 設 宮平設計事務所 施 武田工務店 建 R.C造4階
- ※米陸軍病院 (1955.3~1959.7) 施 国場組 費 480万ドル 建 R.C造5階〈国際入札〉

昭和35年 (1960)



◀ 那覇商業高校体育館
(1959年)



奥武山野球場▶

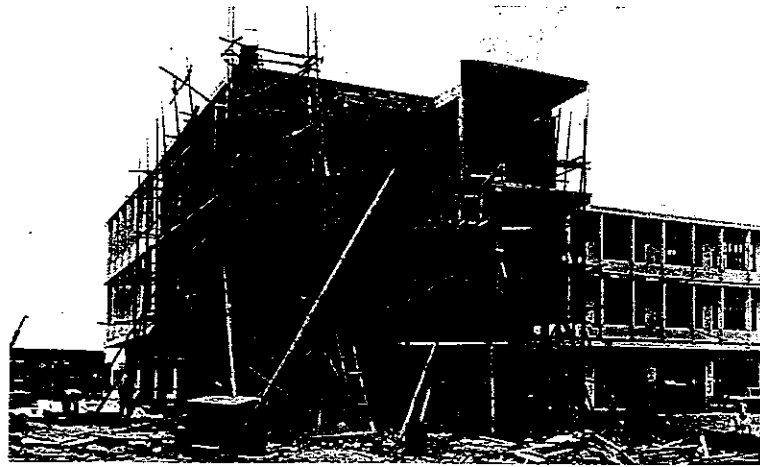
一般社会経済

- 日本政府の沖縄関係予算 102,600,000 円 (1960.1.13)
- 米国の沖縄経済援助予算 463 万ドル (1960.1.19)
- 民政府西表島経済開発の調査明細発表、20年以内に 5 万人移住 (1960.1.20)
- 軍用地料10年前払い 1,900 万ドル、新年度米軍施設建設費 888 万 9 千ドル (1960.3.1)
- 沖縄県祖国復帰協議会結成 (1960.4.28)
- チリ地震による津波沖縄本島中北部に被害を与える。奥武島橋、屋嘉地大橋損壊、真喜屋小学校使用不能となる (1960.5.24)

建築関係

- 奥武山野球場 ④那覇市 ④建築課 () ④前田組 ④RC造
- 南連事務所庁舎 ④那覇市、④RC造 2階建
- 八重山総合病院 ④石垣市 ④建築課 ④RC造
- 南大東高層気象観測所 ④RC造 469.22㎡ ④28,790 ドル
- ※八汐荘(教職員会) ④宮里栄 ④国場組 ④RC造
- ※ラジオ沖縄 ④国場組、④RC造 2階建
- ※国場組ベニア工場 ④国場組 ④5,000,000 ドル

昭和36年 (1961)



◀ 民政府司法ビル



▲ (旧) 宮古文化会館



▲ (新) 宮古文化会館

一般社会経済

- 沖縄大学開学 (1961. 5)
- 拓南製鉄所に電気熔鋼炉完成 (1961. 12)

建築関係

<主要工事>

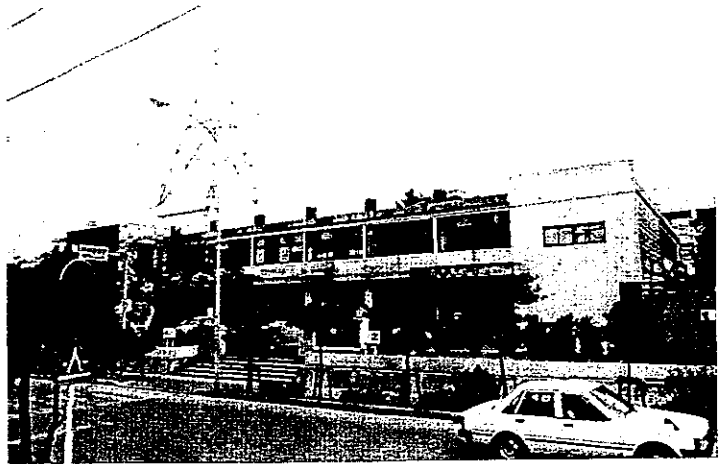
- 民政府司法ビル (第5庁舎) (1961. 9. 20) 設 施 善太郎組 建 RC造3階建 1,331.88㎡、Ⓜ 167,094ドル
- コザ職業安定所 場 沖繩市 設 建築課 施 建 RC造平屋建 (将来3階) 204.6㎡
- 工業指導研究所 場 那覇市 設 建築課 施 嘉数組 建 SRC造2階建 825㎡ Ⓜ 45,000ドル
- 沖縄精和病院 場 南風原町 設 宮里建築設計事務所 施 国場組 建 本館RC造2階建 1,893.11㎡、他看護宿舎、医官住宅 Ⓜ 104,800ドル
- 糸満結核療養所 場 糸満市 設 建築課 施 仲地組 建 RC造平家建 198㎡ Ⓜ 10,500ドル
- 中央農業研究指導所 (現: 沖縄県農業試験場本館) (1960. 6 ~ 1961. 6) 設 建築課 施 建築・南洋土建 (127,300ドル) 電気一金城電気商会 (16,450) 水道一明電舎 (5,670ドル) 建 RC造2,547.86㎡、4階建一部地下1階

- 中央農業研究指導所温室 (ガラス室) 設 建築課 施 金秀鉄工所 建 RC造平屋建 132㎡、Ⓜ 5,470ドル
- 開南派出所 場 那覇市 設 建築課 施 照喜名明德 1,500ドル、建 RC造平家建 19.8㎡
- 牧志派出所 場 那覇市 設 建築課 施 玉栄清敏 2,150ドル 建 RC造平家建 40.59㎡
- 琉球少年院 場 沖繩市 設 建築課 施 丸伊組 58,600ドル 施 補 CB造平屋建 60棟
- 那覇琉米文化会館 場 那覇市 建 RC造2階建 957.73㎡、Ⓜ 67,870ドル
- 宮古琉米文化会館 建 RC造2階建 651.55㎡ Ⓜ 45,460ドル
- ※ 那覇市宮住宅 場 那覇市 施 沖縄実業、大政組 174,248ドル 建 RC造3階建 96世帯 3,352.8㎡
- ※ 伊江村病院 (役所増築含む) 場 伊江村 設 ライト工務店 施 建築一大政組 73,800ドル設備一平良電気商会 7,000ドル、建 RC造2階建 518.1㎡、増築RC造2階部分 643.5㎡
- ※ 婦連会館 場 那覇市 設 ライト工務店 施 松三組 建 RC造2階建
- ※ 第一製糖工場 場 糸満市 設 日新工務店 施 本館、鉄骨: 金秀鉄工所、基礎: 大政組、貯水池: 小波組事務所及び附属建物: 国場組 建 2,500,000ドル、建 本館工場S造平屋建一部4階 4,342㎡附属建物 1,065.82㎡
- ※ 沖縄ホテル本館 場 那覇市 施 前田組 建 RC造 Ⓜ 130,000ドル
- ※ 大文閣 場 那覇市 設 又吉真三
- ※ キャンプハンセン基地 施 国場組 1,150万ドル

昭和37年 (1962)



▲(旧)宮古郵便局



宮古総合庁舎▶



◀東恩納文庫

一般社会経済

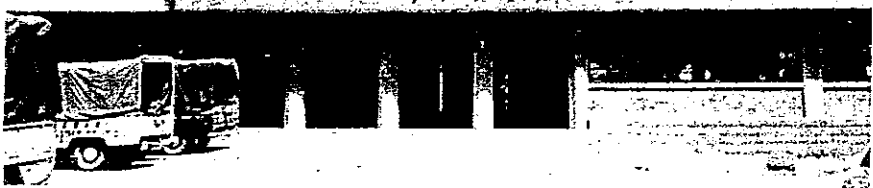
- ケネディ大統領の新政策で「沖縄を日本の一部と認め大幅な経済援助を約束」と発表(1962.3.19)
- 沖縄国際大学認可(1962.3)
- 1963年度米国の沖縄援助費を890万ドルに決定(1962.4)
- 那覇市、特定行政庁となる(1962.4)

建築関係

- 宮古地方総合庁舎 場 平良市 施 狩俣組：22,400ドル、サッシ：堀川建設600ドル 建 RC造平屋建538.25㎡ (1963年度で3階まで増築)
- 八重山琉米文化会館 場 石垣市 施 建築一唐真組38,390ドル、設備一紫電舎9,590ドル、建 RC造2階建739.2㎡
- 糸満登記所 場 糸満市 施 建築課 施 金城工務店6,850ドル 建 RC造平屋建138.6㎡
- 少年院寮舎及び医務室 場 沖縄市 設 建築課 施 建築一丸伊組13,800ドル設備一丸高組2,200ドル、建 寮舎RC造138.6㎡、医務室RC造64.35㎡
- 那覇留置場 場 那覇市 設 施 21,620ドル 建 RC造
- 伊豆味巡査派出所 場 本部町 設 建築課 施 安里幸一郎1,300ドル 建 RC造平屋建39.6㎡
- 有銘巡査駐在所 設 建築課 施 上原土建2,200ドル 建 RC造平屋建39.6㎡
- 糸満水上巡査派出所 場 糸満市 設 建築課 施 宮城道夫1,570ドル 建 RC造平屋建26.4㎡
- 石川保健所及び別館 場 石川市
- ※ 琉球大学体育館 場 那覇市 設 琉球大学・施設課 施 建築一前田組199,700ドル、電気一新屋電気16,970ドル、水道一佐川建設8,100ドル、建 SRC造2階建3,052.5㎡

- 中部農林高校々舎 場 具志川市 施 丸安建設27,022ドル
- 八重山農林高校々舎 場 石垣市 施 寄宿舍66㎡、畜舎、便所一吉見組8,032ドル4教室一大高組13,270ドル、8教室一八重山興発25,320ドル
- 那覇高校校舎 場 那覇市 施 大宜味組12,640ドル、建 5教室RC造
- マイクロ局舎(多野岳局舎) 施 南洋土建43,500ドル(首里局舎) 施 善太郎組42,000ドル、2ヶ所設備一光電気10,450ドル 建 RC造392㎡
- 東恩納文庫 場 那覇市 設 仲座久雄 建 25,000ドル、建 RC造平家
- ※ 琉生病院 場 那覇市 設 宮平建築設計事務所 施 建築一野里組95,000ドル、設備一桐和商会39,500ドル 建 RC造1,584㎡
- ※ 宝生館 場 那覇市 設 太陽工務店 施 比嘉組35,000ドル、建 RC造2階建462.99㎡
- ※ 沖縄キリスト教会短期大学 場 那覇市 設 日新工務店
- ※ 興南高校 場 那覇市 設 我那覇一級建築設計事務所 施 国場組、野里組、沖縄実業(一期工事)、建築一松三組、設備一光明電気 建 本部RC造2階建759㎡、教室RC造2階建60教室、体育館、図書館、プール
- ※ 琉球生命ビル 場 那覇市 設 宮平建築設計事務所 施 国場組 建 RC造4階建
- ※ 沖縄事務機社屋 場 那覇市 設 水間一級建築設計事務所 施 高安組80,000ドル 建 RC造1,227.6㎡
- ※ 沖縄寿屋工場 場 那覇市 設 宮里栄一建築設計 施 建築一善太郎組、電気一三協電気、サッシ：中真鉄工所、建 工場SRC平屋建851.7㎡、附属建物RC造平屋建165㎡
- ※ 琉球セメント(株)工場
- ※ 北部製糖 場 設 新建工務店 施 南洋土建193,500ドル 建 工場S造平屋建2,640㎡、倉庫RC造825㎡
- ※ 石垣製糖 場 石垣市 設 施 国場組500,000ドル、建 工場：S造平屋建一部3階3,795㎡、附属建物RC造264㎡、倉庫：RC造983.4㎡

昭和38年 (1963)



◀ 政府立中央図書館



那覇警察署 ▶

一般社会経済

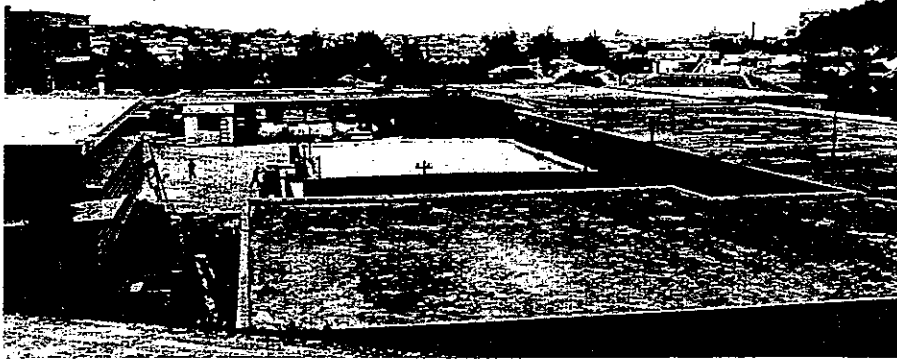
- 宮古気象レーダー完成 85,000ドル (1963.3.8)
- 台風グロリアにより宮古八重山で住宅155棟全壊、最低気圧923.8ミリバールを記録 (1963.9.10)
- 1964年度米国の沖縄援助費1000万ドルに決定 (1963.12.16)
- 1964年度本土政府の沖縄援助費20億3,500万円に決まる。(1963.12.29)

建築関係

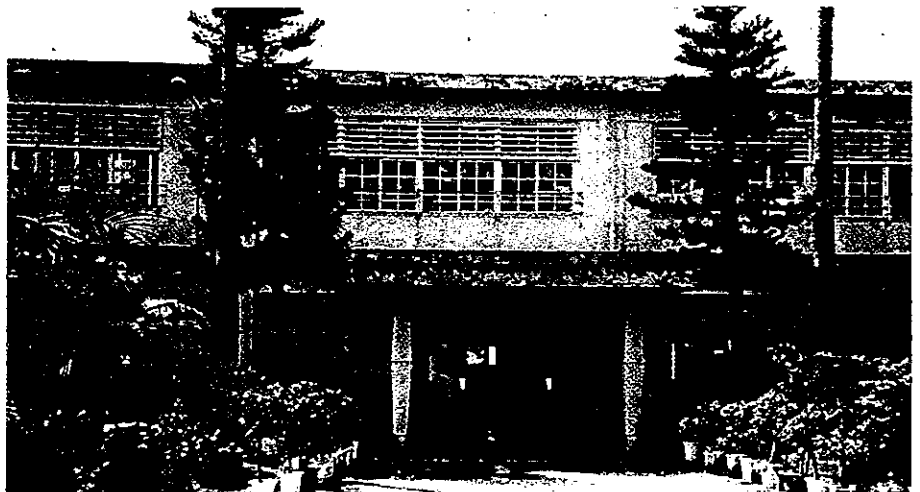
- 政府立中央図書館 (那覇市) (我那覇建築設計事務所) (国場組) 43,670 (RC造3階建) 1,785.34㎡
- 政府立那覇看護学校 (那覇市) (宮平建築設計事務所) (建築一大政組) 111,390ドル 電気-大洋電気 10,550ドル 水道-永山組 11,900ドル (RC造2階建) 1,876.86㎡、教室、宿舍
- 愛楽園病棟増築及び改修 (名護市) (山興組) 56,400 (増築2階部分) 602.77㎡
- 愛楽園炊事場及びボイラー室 (名護市) (建築課) (国頭建設) 18,400ドル (RC造平屋建) 330.48㎡
- 職員研修所 (那覇市) (RC造平屋建) 396㎡
- 税務研修所 (建築課) (RC造2階建) 168㎡
- 宜野座登記所 (宜野座村) (建築課) (RC造平屋建) 99㎡
- 外人税務所庁舎 (那覇市) (沖縄実業) 22,300ドル (RC造) 708.58㎡
- 那覇警察署 (増築) (那覇市) (善太郎組) 32,680

- ドル 設備-知念電気 5,760ドル (RC造2階部分) 675.2㎡
- 沖縄刑務所ブロック工場 (那覇市) (RC造2階建) 313㎡
- 奥巡査駐在所 (国頭村) (建築課) (前田富芳) 2,630ドル (RC造平屋建)
- 琉球家畜衛生試験場凍結乾燥室 (那覇市) (建築課) (丸元建設) 18,530ドル 設備-明光電気 4,520ドル (RC造平屋建) 282.5㎡
- 摩文仁展望台 (糸満市) (建築課) (中村組) 3,980ドル (RC造) 80㎡
- 伊平屋灯台 (伊平屋村) (17,090ドル)
- ハンセン氏病快復者職業補導所 (RC造平屋建一部2階) 1,158.3㎡
- 中部工業高校 (自動車工場・給食室・便所)
- 那覇空港ターミナル (那覇市) (宮平建築設計事務所) (大城組) 48,800ドル (増築2階部分)
- 金武発電所 (金武村) (インターナショナル社 (米国)) 1,015万ドル
- ※那覇市宮辻町・東町アパート (那覇市) (太陽工務店) ・大浜信春建築設計事務所 (コンベ) (建築-丸元建設) 64,096ドル、電気-茶電舎 4,900 ・電興舎 4,600ドル 水道-国場組 9,388ドル、・永山組 10,300ドル (RC造4階建) 1,276㎡ ・1,366㎡ (1階市場) 1戸-24.7㎡×36戸 ・29.7㎡×33戸
- ※南部連合教育委員会社屋 (那覇市) (又吉康次一級建築設計事務所) (建築-嘉数組) 58,800ドル 電気-茶電舎 6,417ドル、水道-永山組 4,678ドル (RC造3階建塔屋1階) 1,443.06㎡
- ※中央倉庫 (那覇市) (宮平建築設計事務所) (国場組) 199,999ドル (RC造平屋建) 2,970㎡
- ※ニッカウスキー工場 (那覇市) (ライト工務店)

昭和39年 (1964)



◀ 肢体不自由児養護学校



精神薄弱児養護学校 ▶

一般社会経済

- 本土～沖縄間マイクロ回線開通 (1964. 9. 1)
- 東京オリンピック聖火那覇着 (1964. 9. 7)
- 琉球セメント(株)操業開始 (1964. 12. 10)
- 1965年度米国の沖縄援助費1,440万ドルに決定 (1964. 7. 1)
- 1964年度住民所得1人当たり293ドル

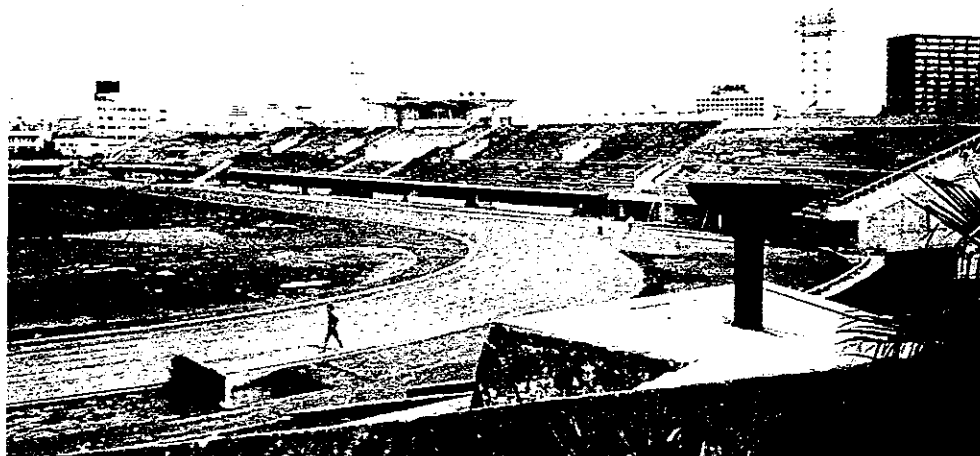
- 八重山裁判所 場石垣市 建 R.C造 871.2 m² 費 40,100 ドル
- 琉球検察庁 場那覇市 設 建築課 施 建築一嘉数組 35,200 ドル、設備一大洋電気 1,840 ドル 建 R.C造 4階部分増築 495 m²
- 石川警察署 場石川市 設 建築課 施 丸伊組 費 38,830 ドル 建 R.C造 2階建 490.20 m²
- 那覇看護学校増築及び炊事場 場那覇市 費 72,050 ドル
- 肢体不自由児養護学校 設 ライト工務店 施 城間組 67,180 ドル 建 R.C造 2階建 1,104.5 m²
- 精神薄弱児養護学校 設 宮平建築設計事務所 施 山城建設 費 58,340 ドル 建 R.C造 2階 建 R.C造 1,177.5 m² (6教室他)
- 琉球大学農学ビル
- 那覇市教育委員会庁舎 場那覇市 設 宮平建築設計事務所 施 建築一嘉数組 156,000 ドル、電気一紫電舎 19,000 ドル、水道一工友社 19,000 ドル 建 R.C造 3階建 2,372 m²
- 那覇市宮久場川公営住宅
- 那覇市宮識名公営住宅 施 九元建設 177,500 ドル
- 琉球セメント(株)屋部工場 場名護市 設 ライト工務店 (設: 丸山設計事務所) 施 工場一大城組、セメントサイロ・バックングプラント一南洋土建、整地・パイル一善太郎組、倉庫・修理工場一大政組、電気一金城電気商会、費 6,000,000 ドル
- 石垣バスターミナル及び修理工場 場石垣市 設 ライト工務店 建 R.C造 2階建 1,089 m²、修理工場 R.C造平屋建 396 m²

建築関係

<主要工事>

- 経済局那覇地区総合庁舎 場那覇市 設 費 23,480 ドル 建 1,101.34 m²
- 経済局畜産物冷凍庫 場那覇市 設 宮平建築設計事務所 施 大政組 90,000 ドル、1,108.7 m²
- 那覇職業補導所 場那覇市 建 R.C造 430.20 m² 費 29,000 ドル

昭和40年 (1965)



◀奥武山競技場



金武精神病院本館 ▶

一般社会経済

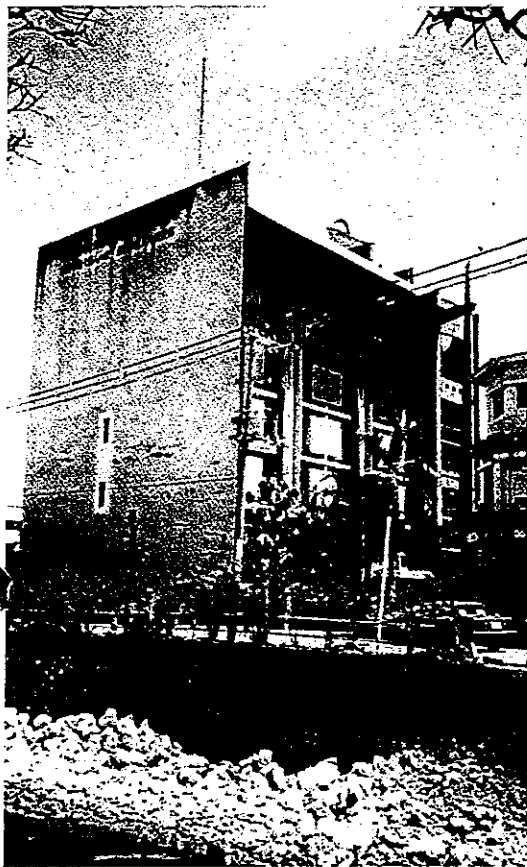
- 佐藤、ジョンソン共同声明発表 (1965. 2. 13)
沖縄の施政権返還について言及される。
- 1966年度米国の沖縄援助費1,743万ドルに決定 (1965. 9. 13)
- 1965年度住民所得一人当たり364ドル (対前年比124.2%)

建築関係

〈主要工事〉

- 奥武山陸上競技場 (1965. 6) 設 建築課 施 国場組 建 R. C
2階建 300坪
- 那覇東郵便局 (1964. 11. 28 ~ 1965. 6.) 施 国場組 費 233,700
ドル 建 R. C造平屋 2,058㎡
- 中部商業高校 (1964. 10. 10 ~ 1965.) 施 城間組
- 知念高校家庭科教室 (1964. 10. 30 ~ 1965.) 施 与那嶺組
費 26,250ドル 建 R. C造
- 浦添高校 (1964. 10. 26 ~ 1965. 3. 31) 施 大政組 費 98,800ドル
建 R. C造2階
- 金武精神病院本館 (1965.) 設 現代、我那覇J・V 施 松三
費 161,300ドル 建 R. C造3階 2,296㎡
- ※琉球新報社 (1964. 5. 14 ~ 1965. 1.) 設 国建 施 国場組
費 253,875ドル 建 R. C造4階 1,400坪
- ※琉球銀行本店 (1964. 8. 5 ~ 1965. 10.) 設 トーマス・ビーボー
施 大城組 費 1,036,000ドル 建 R. C造3階 1,600坪
- ※那覇市庁舎 (1965. 9.) 設 宮平設計事務所 施 善太郎組
建 R. C造 階B1階

昭和41年 (1966)



▲ 沖縄少年会館



▼ 琉球政府立博物館



一般社会経済

- 西表島でイリオモテヤマネコを捕獲 (1966.12.4)
- 県花に「でいご」、県木「リュウキュウマツ」決まる (1966.12.20)
- 本土政府の沖縄援助費 103 億円、台風災害復旧費 3 億 6 千万円承認 (1966.11.27)
- 主民所得一人当り 424 ドル (対前年比 116.5%)
- ・ '66 年度輸入総額 308,422,000 ドル
輸出総額 75,920,000 ドル
※ 観光収入 18,530,000 ドル
観光客 85,822 人

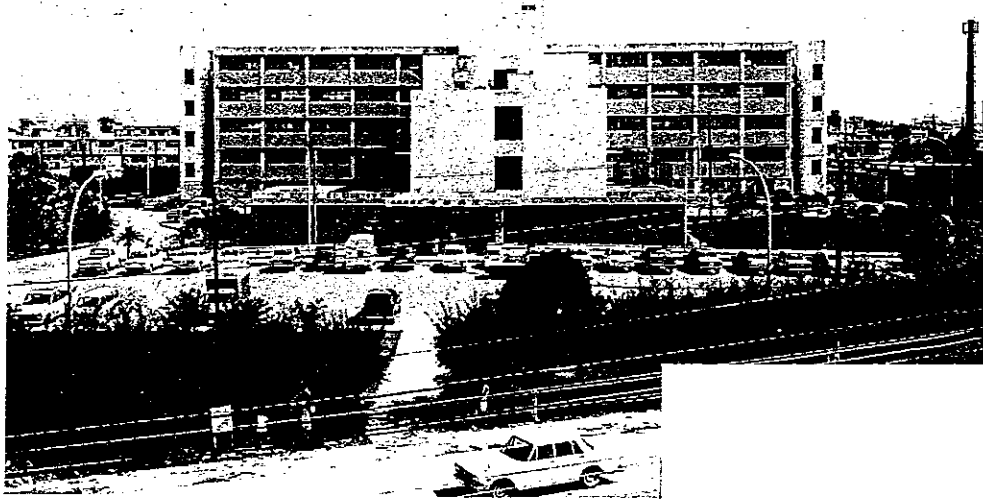
- 沖縄少年会館 (1966.2.) ④宮里栄一 ⑤建築一善太郎組 (148,000 ドル)、電気一明電舎 (10,000 ドル)、衛生一桐和商会 (20,800 ドル) ⑥R.C造5階 2,162㎡
- 具志川看護学校 (1966.) ⑤国場組 ⑥R.C造2階 706坪
- 商業実務専門学校 (1966.) ⑤山城建設 ⑥150,600 ドル ⑥R.C造3階 2,623.5㎡ (浦添商高)
- 産業技術学校 (1966.) ⑤前田組 ⑥340,900 ドル ⑥R.C造2階 3,168㎡
- 出入国管理庁舎 (1966.) ⑤宮平設計事務所 ⑥丸元建設 ⑥90,000 ドル ⑥R.C造2階 2,228㎡
- 中央児童相談所一時保護所 (1966.) ⑤松三組 ⑥59,770 ドル ⑥R.C造平屋 220坪
- 医学図書館 (1966.) ⑤南洋土建 ⑥74,880 ドル ⑥R.C造2階 800.4㎡
- 琉球政府立博物館 (1965.5.17~1966.10.6) ⑤我那覇設計事務所 ⑥国場組 ⑥575,000 ドル ⑥R.C造3階B1階 3,294㎡
- 八重山保健所 (1966.) ⑤吉見組 ⑥49,900 ドル ⑥R.C造 660㎡
- ※那覇電報電話局 (1966.) ⑤国建 ⑥大政組 ⑥308,000 ドル ⑥R.C造5階 2,507.7㎡
- 応急仮設住宅一⑥計 15,530 ドル

建築関係

<主要工事>

- 少年院体育館 (1966.) ⑤建築一丸伊組 (54,800 ドル)、設備一丸高電気 (6,230 ドル) ⑥R.C造平屋 1,098㎡
- 名護青年の家 (1966.11.25) ⑤南洋土建 ⑥96,250 ドル
- 中央病院 (1963.9.21~1966.9.1) ⑤国場組 ⑥657,000 ドル ⑥R.C造5階 5,590.4㎡

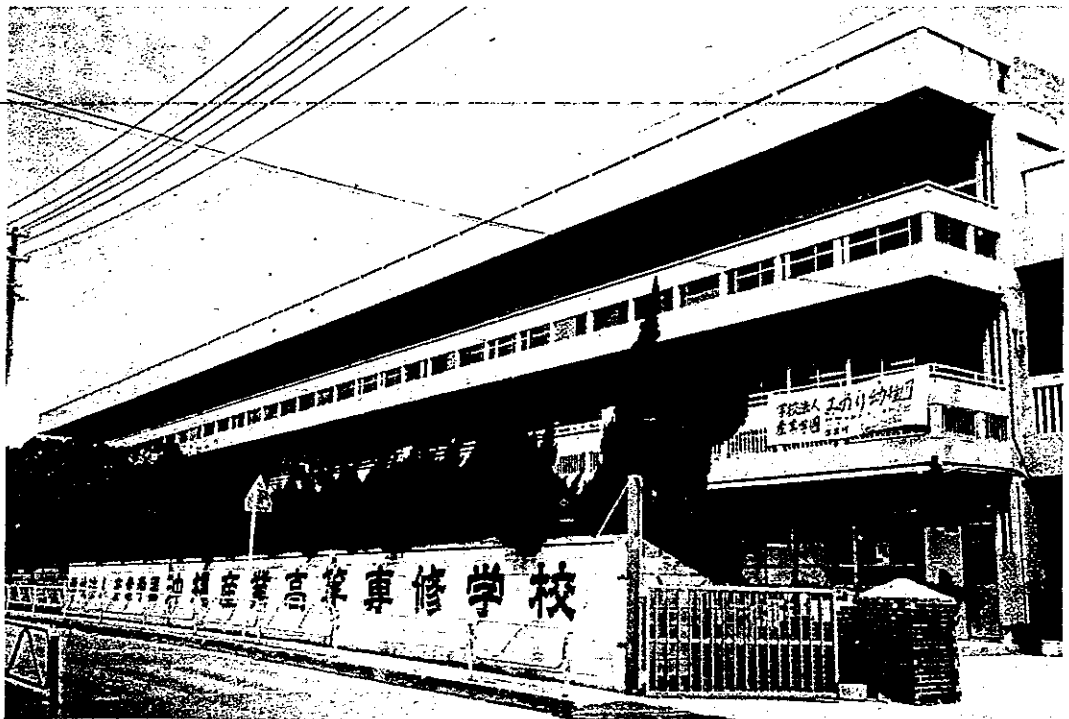
昭和42年 (1967)



▲中央病院 (1966年)



同工事写真▶



▲産業技術学校

一般社会経済

- 佐藤首相沖縄の施政権返還時期について両三年内と所信表明(1967. 11)
- 石川市で57棟全半焼(1967. 2. 17)
- 大城立裕氏芥川賞受賞(1967. 7. 1)
- 琉球土地住宅新聞創刊(1967. 9)
- 1967年度輸入総額363,300,000ドル
輸出総額78,300,000ドル
- 1967年度住民所得一人当たり497ドル(対前年比117.2%)

建築関係

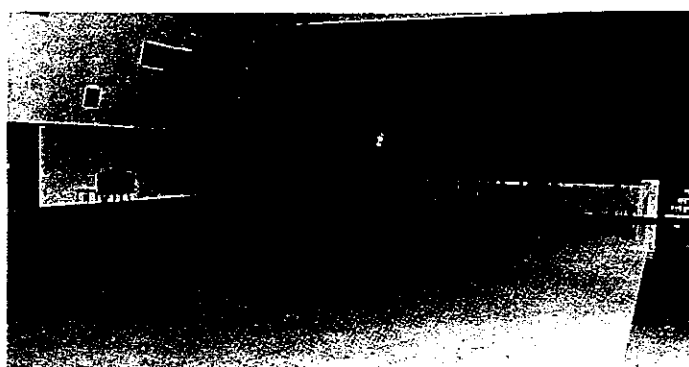
- 公共工事における前払金保証事業立法(1967. 7. 1)
- <主要工事>
- 円覚寺放生橋(池)復元(1967. 6. 13)
- 農業試験場甘蔗育種実験室他(1966. 11. 15~1967. 3. 30) 施 喜納上務店 費 39,000ドル 建 ガラス室264㎡、網室32㎡、実験室R.C造164.7㎡
- 東平安名崎燈台(1966. 10. 10~1967. 3. 8) 施 石嶺組 費 26,097ドル 建 R.C造64.64㎡高20M、道1,900M
- 那覇商港上屋倉庫(1966. 12. 19~1967. 5. 17) 施 大城組 費 40,000ドル 建 R.C造2階1,080㎡
- 琉球結核研究所病棟ボイラー室(1967. 1. 5~1967. 6. 3) 施 金正組 費 48,000ドル 建 R.C造2階572.5㎡
- 琉球精神病院病棟(1967. 1. 3~1967. 6. 25) 施 松三組 費 59,700ドル 建 R.C造2階580.25㎡
- 少年院寮舎(1966. 12. 22~1967. 6. 19) (I) 施 丸伊組 費 38,380ドル 建 R.C造2階421.2㎡
(II) 施 山興組 費 39,480ドル 建 R.C造2階400.84㎡
- 与那原警察署(1967. 1. 10~1967. 6. 28) 施 照正組 費 37,480ドル 建 R.C造2階496.5㎡
- 琉球結核研究所看護婦宿舎(1967. 1. 23~1967. 6. 29) 施 中村組 費 35,510ドル 建 R.C造2階299.18㎡
- 交通総合庁舎(1967. 1. 7~1967. 6. 25) 施 丸元建設 費 58,000ドル 建 R.C造3階667.44㎡
- 精薄児宿舎(1967. 1. 24~1967. 6. 25) 施 小正建設 費 48,760ドル 建 R.C造平屋3棟694.66㎡
- 金武保養院病棟増築(1967. 2. 27~1967. 8. 25) 施 小波津組

- R.C造平屋2棟358㎡、木造180.6㎡
- 物産検査所増築(1967. 3. 22~1967. 6. 25) 施 安里組 費 45,800ドル 建 R.C造2階534.54㎡
- 農業試験場温室(1967. 7. 5~1967. 12. 31) 施 中真鉄工所 費 25,000ドル 建 ガラス温室132.5㎡R.C造32.4㎡
- 琉球結核研究所病棟(1967. 5. 1~1967. 9. 27) 施 金正組 費 30,000ドル 建 R.C造388.85㎡
- 八重山保健所衛生研究室(1967. 6. 13~1967. 12. 9) 施 吉見武治 費 50,960ドル 建 R.C造2階485.04㎡
- 産業技術学校々舎(1966. 8. 25~1967. 3. 12) 施 前田組 費 120,480ドル 建 R.C造2棟1,584㎡
- 鏡ヶ丘養護学校増築(1966. 11. 12~1967. 5. 10) 施 野里組 費 43,630ドル 建 R.C造2階他、648㎡
- 聾学校体育館(1966. 11. 1~1967. 3. 30) 施 照喜名組 費 34,765ドル 建 R.C造平屋スレート葺469.7㎡
- 豊見城高校校舎(1966. 9. 22~1967. 3. 20) (I) 施 金正組 費 33,700ドル 建 R.C造2階503.63㎡
(II) 施 高良組 費 29,450ドル 建 R.C造2階502.4㎡
- 中部商業高校々舎(1966. 9. 22~1967. 2. 18) 施 安里組 費 45,200ドル 建 R.C造3階他、850.12㎡
- 中部工業高校々舎(1966. 10. 6~1967. 3. 5) 施 嘉数組 費 20,670ドル 建 R.C造2階381.06㎡
- 浦添高校々舎(1966. 10. 12~1967. 3. 31) 施 大政組 費 87,200ドル 建 R.C造2階他、1,563.9㎡
- 宜野座高校々舎(1966. 12. 20~1967. 5. 3) 施 渡嘉敷組 費 26,780ドル 建 R.C造3階635.16㎡
- 前原高校々舎(1966. 12. 20~1967. 6. 17) 施 松三組 費 54,570ドル 建 R.C造3階他、1,140.82㎡
- 八重山商工高校本館(1966. 11. 24~1967. 3. 31) (I) 施 山田昇 費 53,030ドル 建 R.C造2階609.39㎡
(II) 施 吉見武治 費 58,500ドル 建 R.C造2階623.5㎡
- 本部高校々舎(1966. 12. 10~1967. 6. 28) 施 大一組 費 79,900ドル 建 R.C造平屋1,031.55㎡
- 真和志高校々舎(1967. 1. 3~1967. 8. 30) 施 善太郎組 費 150,000ドル 建 R.C造2階1,914.63㎡
- 宮古高校々舎(1967. 1. 25~1967. 6. 23) 施 狩俣恵典 費 30,380ドル 建 R.C造3階他、454.9㎡
- 普天間高校々舎(1967. 2. 2~1967. 6. 21) 施 信吉組 費 34,800ドル 建 R.C造2階411.39㎡
- コザ高校図書館(1967. 3. 8~1967. 9. 3) 施 丸安建設 費 44,000ドル 建 R.C造平屋401.4㎡
- 中部工業高校特別教室(1967. 3. 1~1967. 6. 25) 施 嘉数組 費 29,800ドル 建 R.C造2階476.7㎡
- 知念高校特別教室(1967. 3. 23~1967. 8. 4) 施 屋比久建設 費 29,000ドル 建 R.C造3階511.38㎡
- コザ高校々舎(1967. 4. 15~1967. 10. 4) 施 小波津組 費 31,601ドル 建 R.C造平屋348.15㎡
- 沖縄工業高校(1967. 5. 18~1967. 10. 14) 施 喜納上務店 費 36,200ドル 建 R.C造2階他628.03㎡
- 首里高校々舎(1967. 6. 5~1967. 11. 1) 施 照喜名組 費 32,000ドル 建 R.C造2階548.66㎡
- 中部商業高校管理棟(1967. 6. 12~1968. 11. 8) 施 安里組 費 50,700ドル 建 R.C造平屋525.5㎡
- 那覇商業高校(1967. 6. 27~1967. 11. 23) 施 金秀鉄工 費 31,000ドル 建 S.造スラブ屋根382.77㎡
- 小禄高校々舎(1967. 7. 3~1967. 12. 29) 施 沖縄実業 費 42,620ドル 建 R.C造3階613.29㎡
- 中部病院増築(1967. 1. 25~1967. 12. 15) 施 国場組 費 260,000ドル 建 R.C造2階2,236.62㎡
- 応急仮設住宅 費計176,193ドル

昭和43年（1968）

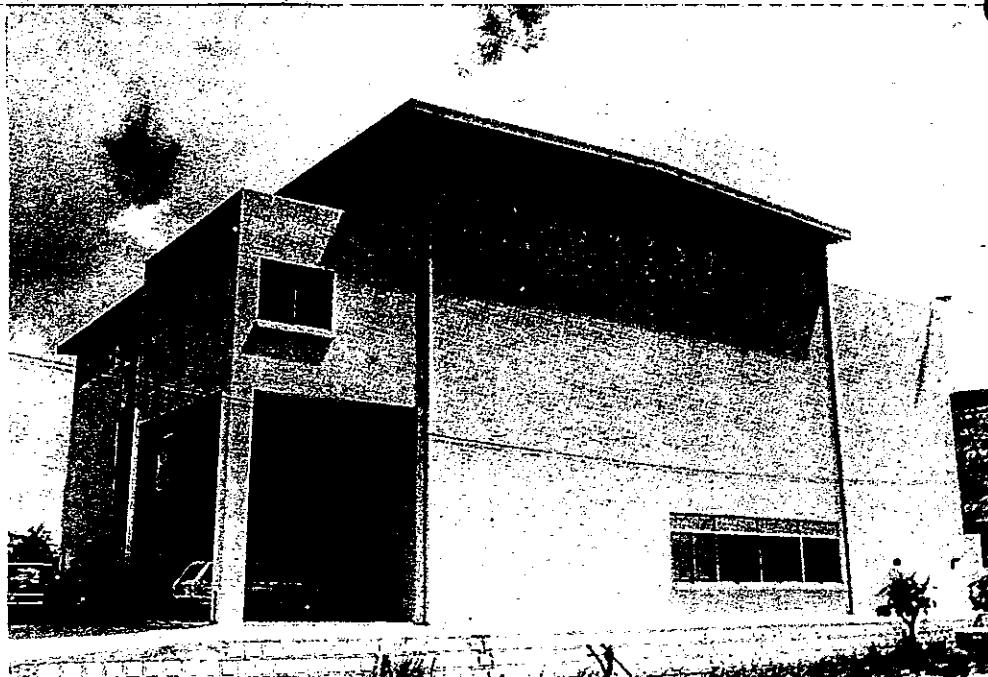


◀ コザ警察署



▲ 内部

那覇琉米文化会館 ▶
(1969年)



一般社会経済

- 民裁判所制度の発足（1968.1.1）
- 米民政府はマチナトサービス地区に移転、行政府ビルより星条旗降る（1968.1.10）
- 琉球銀行住宅ローン開設（1968.6.28）

- 南静園職員住宅他（1968.6.1～1968.10.28） 施丸盛組 費30,140ドル 建R.C造平屋275.5㎡
- 産業技術学校増築（1967.9.22～1968.7.18）（I）施前田組 費161,550ドル 建R.C造2階2,249.98㎡
（II）本館 施前田組 費72,919ドル 建R.C造3階1,105㎡
（III）設備 施三協電気工業 費13,720ドル
- 商業実務専門学校女子寮（1967.9.18～1968.5.15）施山城建設 費72,156ドル 建R.C造2階848.6㎡
- 中部商業高校管理棟増築（1967.10.3～1968.3.31）施安里組 費49,200ドル 建R.C造3階705.5㎡
- 真和志高校増築（1967.11.6～1968.10.31）（I）施善太郎組 費257,300ドル 建R.C造3階3,592.5㎡
（II）設備衛生一三松商会（23,850ドル）、電気一朝水電気（20,250ドル）
- 浦添高校増築（1967.9.11～1968.6.7）（I）施大政組 費101,300 建R.C造2階他1,872.2㎡（II）設備、衛生一明光電気（12,490ドル）、電気一知念電気商会（8,650ドル）
- 鏡ヶ丘養護学校（1967.10.20～1968.3.28）施南海土木 費28,000ドル 建R.C造平屋400㎡
- 豊見城高校々舎（1967.11.16～1968.7.13）（I）施新松組 費139,800ドル 建R.C造3階2,219.6㎡（II）電気設備一比嘉電気（14,300ドル）（III）衛生設備一工友社（12,100ドル）

建築関係

<主要工事>

- 円覚寺総門復元（1968.7.）
- 弁財天堂復元（1968.9.16）
- 宮古保健所（1967.4.1～1968.1.25）施与那覇政吉 費80,000ドル 建R.C造2階842.79㎡
- 愛楽園体育館及事務所（1967.5.16～1968.1.10）施南洋土建 費80,000ドル 建S造591.88㎡、R.C造平屋152㎡
- 那覇高校々舎（1967.11.6～1968.4.4）（I）施山栄組 費29,000ドル 建R.C造1階399.5㎡
（II）水泳プール（1967.11.6～1968.4.4）施野里組 費95,000ドル 建R.C造25M×8コース
- 教育研修センター（1968.1.25～1968.11.30）施嘉数組 費219,400ドル 建R.C造3階2,851.9㎡ 施電気一金城電気商会（30,300ドル）、衛生一工友社（30,200ドル）
- 八重山総合庁舎（1967.12.4～1968.6.20）施吉見武治 費57,737ドル 建R.C造2階770.㎡ 施新城長位（9,700ドル）

- 浦添高校増築（1967.9.11～1968.6.7）（I）施大政組 費101,300 建R.C造2階他1,872.2㎡（II）設備、衛生一明光電気（12,490ドル）、電気一知念電気商会（8,650ドル）
- 鏡ヶ丘養護学校（1967.10.20～1968.3.28）施南海土木 費28,000ドル 建R.C造平屋400㎡
- 豊見城高校々舎（1967.11.16～1968.7.13）（I）施新松組 費139,800ドル 建R.C造3階2,219.6㎡（II）電気設備一比嘉電気（14,300ドル）（III）衛生設備一工友社（12,100ドル）
- 本部高校々舎（1967.12.20～1968.5.17）（I）施上原組 費36,500ドル 建R.C造2階611.1㎡（II）設備一名護電気工事社（6,700ドル）
- 宮古産業技術学校（1968.1.3～1968.9.28）（I）施下地健司 費105,600 建R.C造平屋1,361.6㎡、（II）電気設備一仲間秀夫（22,500ドル）、（III）衛生設備一永山組（10,500ドル）
- 八重山高校増築（1968.1.18～1968.6.15）施八重山興業 費41,680ドル 建R.C造2階480.25㎡
- 宮古水産高校増築（1968.2.5～1968.6.18）施石嶺全一 費25,840ドル 建R.C造2階459.6㎡
- コザ高校々舎増築（1968.2.12～1968.6.25）施根路銘工務店 費29,220ドル 建R.C造3階434.9㎡
- 中部産業技術学校（1968.2.15～1968.10.11）（I）施金正組 費152,600ドル 建R.C造平屋1,775.25㎡（II）電気一大原電気（27,550ドル）（III）衛生一大宮設備（18,350ドル）
- 宮古農林高校特別教室（1968.5.29～1968.10.15）（I）施司組 費39,350ドル 建R.C造平屋518.98㎡（II）設備一丸仲電気水道工事社（8,650ドル）
- 宮古水産高校特別教室（1968.5.29～1968.9.25）施宮古土建 費34,000ドル 建R.C造2階434.9㎡

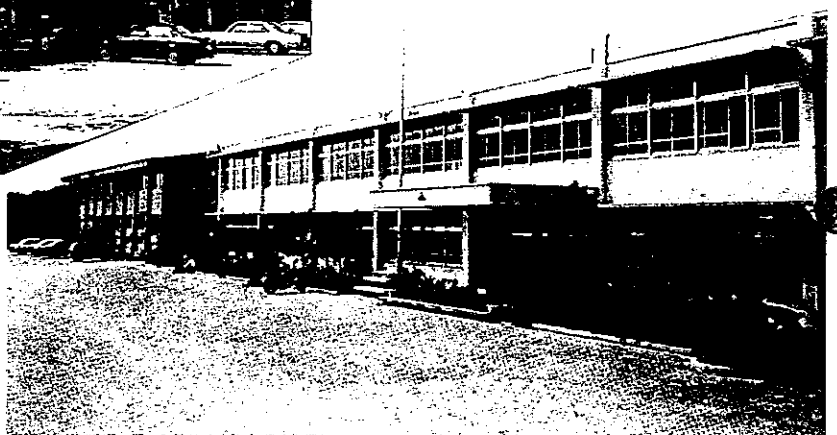
- 中央図書館増築（1968.3.20～1968.11.14）施南洋土建 費111,700ドル 建R.C造2～3階1,271.89㎡
- コザ看護学校増築（1968.1.4～1968.6.1）施国場組 費66,000ドル 建R.C造715.52㎡
- 那覇商港上屋倉庫増築（1968.1.29～1968.6.26）施大城組 費75,280ドル 建R.C造1階1,080㎡
- コザ警察署（1968.2.1～1968.6.29）施小波津組 費44,780ドル 建R.C造2階592.㎡、設備一現代設備（6,848ドル）
- 宮古飛行場照明設備（1968.3.22～1968.10.17）施紫電舎 費37,000ドル
- 石嶺児童園宿舍（1968.3.11～1968.6.28）施城間組 費45,300ドル 建R.C造平屋588.3㎡
- 沖縄厚生園老人ホーム（1968.3.11～1968.6.28）施沖縄実業 費42,640ドル 建R.C造445㎡
- 少年院敷地整備（1968.3.22～1968.6.28）施橋本組 費28,000ドル
- 少年院教室その他（1968.3.22～1968.6.28）（I）施読谷貝造工業商事 費30,990ドル 建R.C造2階295㎡
（II）施山城建設 費44,660ドル 建R.C造327.6㎡
- 愛楽園職員住宅（1968.6.3～1968.10.30）施比嘉組 費37,830ドル 建R.C造平屋392.63㎡

- 中部商業高校図書館（1968.6.11～1968.10.8）施屋比久建設 費30,630ドル 建R.C造平屋324.82㎡
- 八重山高校実習室（1968.6.8～1968.10.20）（I）施八重山興業 費29,180ドル 建R.C造389.8㎡、（II）設備一石垣用明（12,200ドル）
- 那覇高校武道場等（1968.6.3～1968.10.30）（I）施丸元組 費35,000ドル 建R.C造平屋364㎡、（II）施山興社 費32,500ドル 建R.C造2階463.8㎡
- 久米高校図書館（1968.6.24～1968.11.20）施山三組 費28,400ドル 建R.C造平屋286.7㎡
- 石川高校図書館（1968.6.15～1968.11.21）施ねは組 費35,290ドル 建R.C造平屋330㎡
- 浦添高校図書館（1968.6.15～1968.12.1）施大政組 費44,900 建R.C造479.3㎡
- 名護病院増築（1968.1.4～1968.9.29）施大政組 費161,900ドル 建R.C造2階1,376.9㎡
- 宮古病院看護婦宿舍（1968.7.1～1968.11.27）施山里賀徳 費26,780ドル 建R.C造平屋273.9㎡
- 中部病院看護婦宿舍（1968.3.11～1968.6.28）施金世組 費34,450ドル 建R.C造2階435.92㎡

昭和44年 (1969)



◀ 海員学校



琉球警察学校本部 ▶

一般社会経済

- 1972年の施政権返還が決定 (1969. 11. 21)
- 万国博沖縄県推進運動協議会発足 (1969. 4. 14)
- 福地ダム起工式 (1969. 7. 16)
- 沖縄本島一宮古島一石垣島間の U. H. F 電話回線開通 (1969. 7. 1)

- 北山高校 (1969. 6. 25) 施孝夫組 建 R. C 造平屋 97.5 m² 費 13,820 ドル
- 石川高校 (1969. 6. 25) 施丸信組 建 R. C 造平屋 216.27 m² 費 21,740 ドル
- 北部工業教員実習室 (1969.) 設ライト工務店 建 R. C 造平屋 605.62 m²
- 琉球警察学校本館 (1969.) 設我那覇設計事務所 施建築一丸伊組 (491,000 ドル)、電気一三和電設 (48,800 ドル)、機械一大宮設備 (40,880 ドル) 建本館 R. C 造3階、管理棟 R. C 造平屋 499.2 m²、射撃場 S 造平屋 2,946.45 m²
- 中央保健所 (1969.) 施伊是名組 建 R. C 造平屋 990 m² 費 150,000 ドル

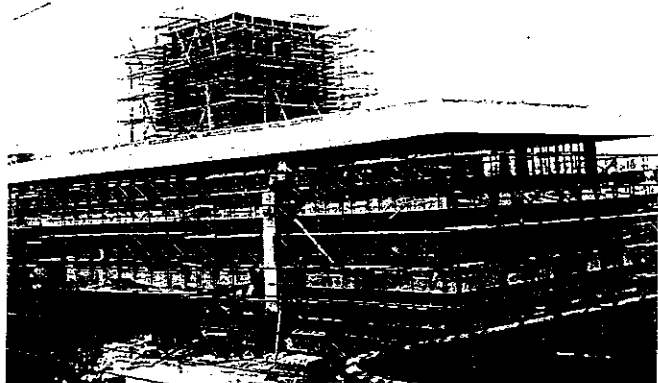
建築関係

<主要工事>

- 弁財天堂・天女橋復元 (1969. 4. 17)
- 那覇商業高校図書館 (1969.) 設建築課 施野里組 建 R. C 造2階 623.58 坪
- 読谷高校特別教室 (1969.) 建 R. C 造3階 217.71 坪
- 知念高校 (1969. 12. 10) 施屋比久建設 建 R. C 造2階 261.9 m² 費 17,380 ドル
- 普天間高校 (1969. 12. 10) 施多和田組 建 R. C 造3階 182.48 m² 費 13,900 ドル
- 沖縄厚生園職員宿舎 (1969.) 施丸健建設 建 R. C 造平屋 198.65 m² 費 12,250 ドル
- 愛楽園職員住宅 (1969.) 施金城組 建 R. C 造平屋 222.67 m² 費 27,900 ドル
- 南部産業技術学校 (1969.) 施嘉数組 費 124,950 ドル
- 宮古高校体育館 (1969.) 施宮古建設 費 147,800 ドル
- 糸満高校理科教室 (1969.) 施並里組 費 18,420 ドル 建 RC 造2階 223 m²
- 本部高校図書館 (1969.) 施良三組 建 R. C 造平屋 費 19,300 ドル

- 名護厚生園 (1969.) 施善太郎組 建管理棟 R. C 造2階 960.44 m²、養護棟 R. C 造平3棟 1,384.57 m²
- 北部農林高校パイロットファーム (1969.) 施山城建設、名護電気 建 R. C 造平2棟 619.37 m² 費 建築 99,000 ドル、電気 27,700 ドル
- 政府立海員学校 (1969.) 設国建設計 K. K 施金正組 建 R. C 造3階 1,598.7 m² 費 188,500 ドル
- 青年の家附属体育館 (1969.) 建 S. R. C 造2階 836.4 m²
- 那覇琉米文化会館 (1969.) 設現代建築設計事務所 施建築一沖縄実業 (101,300 ドル)、電気一琉球電気水道工事 (22,050 ドル)、衛生一大道工業 (12,750 ドル) 建 R. C 造2階 711 m²
- 官公労共済会館 (1969. 12.) 施建築一丸平組 (219,800 ドル)、電気一知念電気 (58,400 ドル)、衛生一三松商会 (71,000 ドル) 建 R. C 造4階 2,600 m²
- 石川保健所平良川出張所 (1969.) 施嘉陽田組 建 R. C 造平屋 131.63 m²
- 那覇保健所与那原出張所 (1969.) 施中村組 建 R. C 造平屋 181.0 m² 費 18,130 ドル
- 中部病院第2病棟増築 (1968. 7. 5 ~ 1969. 5. 30) 施國場組 費 315,300 ドル 建 R. C 造4階 2,703.5 m²

昭和45年 (1970)



▲新高等裁判所



◀ゆうな荘

一般社会経済

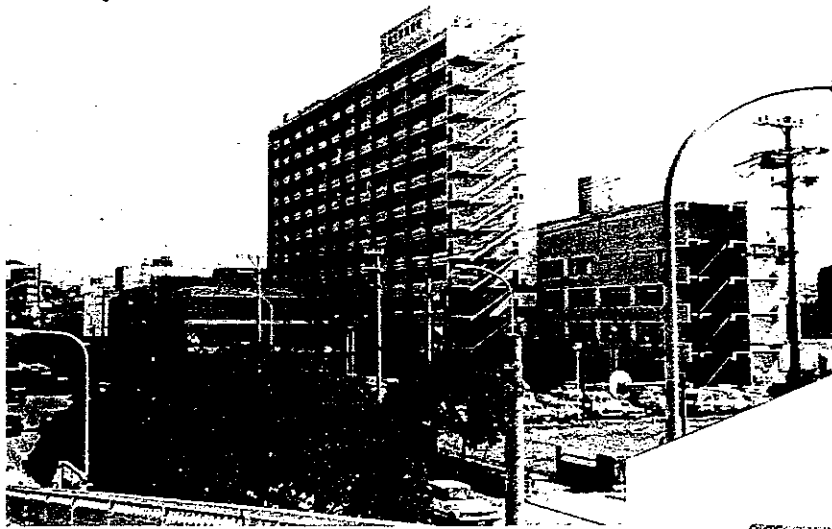
- 本土政府の沖縄援助費 350 億円決定 (1970. 1. 30)
- 本土政府沖縄復帰対策大綱の原案なる (1970. 3. 26)
- 新年度予算 202,310,000 ドル決定 (1970. 8. 31)
- 沖縄海洋博の1975年開催発表 (1970. 10. 23)
- 米陸軍毒ガス移送計画発表 (1970. 12. 11)
- コザ市暴動事件発生 (1970. 12. 21)
- 1970年度輸入総額 497,460,000 ドル
輸出総額 104,120,000 ドル

建築関係

- 新高等裁判所 (1968. 11. 2 ~ 1970. 3. 6) ④又吉真三一日新工務店 (コンベ) ⑤建築一丸元建設 (702,000 ドル)、電気一朝水電気 (159,000 ドル)、衛生一桐和商会 (179,150 ドル) ⑥R.C造 3階 B 1階 7,600.31 m²
- 勤労者福祉会館 (1969. 4. 26 ~ 1970. 5.) ④近代設計 ⑤建築一國場組 (343,700 ドル)、電気一前田電気 (75,500 ドル)、衛生一三松商会 (123,900 ドル) ⑥R.C造 階 B 1階 m²
- 教員教育センター (1970.) ④我那覇設計事務所 ⑤R.C造 4階 446坪
- 名護病院増築工事 (1969. 3. 28 ~ 1970.) ④宮平設計事務所 ⑤新松組 ⑥R.C造 4階 2,142.86 m² ⑦299,300 ドル
- ゆうな荘 (1969. 4. 5 ~ 1970.) ④大浜信春 ⑤建築一小波津組 (280,200 ドル)、電気一三協電機 (99,990 ドル)、衛生一現代設備 (116,000 ドル) ⑥R.C造 5階 B 1階 3,167.68 m²
- 海員学校 (1969. 3. 28 ~ 1970.) ⑤金正建設 ⑦188,500 ドル
- 名護病院看護婦宿舎 (1970.) ⑤福木組 ⑥R.C造 3階 266.80 m² ⑦2,869 ドル
- コザ看護学校宿舎 (1970. 7.) ⑤祝嶺組 ⑥R.C造 3階 222.12 m² ⑦32,000 ドル
- 中部病院看護婦宿舎 (1970.) ⑤建築一島袋宗助 (56,300 ドル)

- ル)、設備一高江洲真佐吉 (8,190 ドル) ⑥R.C造 2階 634.15 m² ④比嘉設計 (2,430 ドル)
- 小禄高校図書館増築 (1970.) ⑤真境名由進 ⑦24,200 ドル ⑥R.C造平屋 341.5 m²
- 沖縄盲学校 (1970.) ⑤建築一ときわ建設 (27,900 ドル)、設備一明光電気工業 (6,300 ドル) ⑥R.C 2階 2棟 387.89 m²
- 沖縄聖学校 (1970.) ⑤建築一安里組 (64,000 ドル)、設備一知念電気商会 (8,700 ドル) ⑥R.C造 3階、平屋 658.4 m²
- 大平養護学校 (1970.) ⑤山城建設 ⑥R.C造 3棟 187.3 m² ⑦54,900 ドル
- 南部農林高校 (1970.) ⑤照正組 ⑥R.C造平屋 325 m² ⑦52,900 ドル
- 警察局通信総合庁舎 (1970.) ⑤建築一具志工務店 (67,250 ドル)、電気一共立舎 (9,000 ドル)、衛生一新和設備 (6,100 ドル) ⑥R.C造 4階 679.4 m²
- 琉球気象庁通信室 (1970.) ⑤稲工建設 ⑥R.C造平屋 146.84 m² ⑦25,970 ドル
- 那覇中央保健所 (1970.) ④大浜信春 ⑤伊是名組 ⑥R.C造 2階 722.46 m² ⑦149,300 ドル
- 琉大保健学部 (1970. 10. 28) ④琉大施設課 ⑤建築一國場組 (383,780 ドル)、電気一紫電舎 (143,600 ドル)、空調一現代設備 (104,900 ドル)、衛生一永山組 (59,000 ドル)、⑥R.C造 3階 5,322 m²
- ※那覇市民会館 (1969. 4. 4 ~ 1970. 11. 18) ④現代建築設計事務所 ⑤建築一前田組 (1,193,000 ドル)、電気一新星電気 (108,600 ドル)、空調一沖菱建材 (168,500 ドル)、衛生一美里工業 (50,800 ドル)、音響一光電気 (42,795 ドル) ⑥R.C造 3階 B 1階 6,133.6 m²
- ※国場ビル (1968. 7 ~ 1970. 3. 6) ④国建設計 ⑤国場組 ⑥R.C造 12 m P.H 2階 15,777.49 m²

昭和46年 (1971)



▲ (新) 那覇病院

▼ 奥武山体育館



一般社会経済	建築関係
<ul style="list-style-type: none"> ○毒ガス移送実施 (1971. 1. 13) ○復帰記念国体開催決定 (1971. 6. 5) ○ドルショックで沖縄経済混乱 	<p>〈主要工事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (新) 那覇病院 (場) 那覇市 (設) 芦原義信建設設計研究室 (施) 建築一南洋土建 2,298,000 ドル、電気一沖水電気水道工事 665,000 ドル、空調一桐和商会 973,500 ドル、水道一三栄工業 430,000 ドル、エレベーター一沖縄エジソン商会 94,000 ドル、(場) 北棟 (外来) R.C造 3 階建、中央棟 (病床) S R.C造 12 階建 地下 1 階、塔屋 3 階、南棟 R.C造 5 階建 地下 1 階 ○ 北部工業高校電気ビル及び鑄造鍛造ビル (場) 名護市 (設) 建築課 (施) 渡嘉敷組 151,000 ドル (場) 電気ビル一 R.C造 2 階建 (将来 3 階) 705.52 m²、鑄造鍛造ビル R.C造平屋建 364.65 m² ○ 沖縄盲学校寄宿舎 (場) 那覇市 (設) (施) 建築一上地組 28,850 ドル、設備一崎浜水道設備 9,200 ドル (場) R.C造平屋建 (将来 3 階) 257.2 m² ○ 金武保養院炊事場 (場) 金武町 (設) (施) 建築一ねは組 42,500 ドル、設備一現代設備 12,410 ドル (場) A 房一 R.C造平屋建 338.68 m²、B 房一 R.C造平屋建 155.52 m² ○ 石垣空港ターミナルビル (場) 石垣市 (設) (施) 南洋土建 99,000 ドル (場) R.C造平屋建 1,000 m² ○ 奥武山体育館 (場) 那覇市 (設) (施) 国場組 5,000,000 ドル (場) S R.C造 3 階建 4,632.58 m²

昭和47年 (1972)



◀ コザ看護学校

- 沖縄海洋博正式決定 (1972. 2. 29)
- 全軍労無期限スト (1972. 3. 7)
- 施政権返還沖縄県発足 (1972. 5. 15)

- 石垣農作物市場倉庫 (1971. 12. 10 ~ 1972. 3. 31) 施慶田城政用 費 40,900 ドル
- 南部家畜常設セリ市場 (1972. 2. 19 ~ 1947. 5. 31) 施壺屋工業 費 97,500 ドル
- 沖縄社会福祉会館増築 (1972. 6. 20) 施屋比久建設、紫電舎、三栄工業 費 41,666 ドル
- 鏡ヶ丘養護学校兼城分校 (1971. 12. 8 ~ 1972. 5. 15) 施建築一中村組 (40,900 ドル)、設備一上原電気工業 (9,300 ドル) 費 R.C造平屋 414.3 m²
- 糸満高校増築 (1971. 12. 8 ~ 1972. 5. 15) 施玉那覇建設 費 23,580 ドル
- 大平養護学校 (1971. 12. 10 ~ 1972. 4. 17) 施石嶺組 費 18,990 ドル 費 R.C造3階 226.8 m²
- 沖縄盲学校増築 (1971. 12. 10 ~ 1972. 4. 22) 施東建設 費 13,950 ドル 費 R.C造 137.08 m²
- 南部工業高校 (1971. 12. 9 ~ 1972. 6. 25) 施建築一小波津組 (122,980 ドル)、電気一沖縄電気工事 (22,200 ドル)、衛生一宮城製作所 (10,100 ドル)
- 北部農林高校増築 (1971. 12. 13 ~ 1972. 5. 25) 施山仁組 費 40,880 ドル
- 美里工業高校自動車実習棟 (1971. 12. 10 ~ 1972. 6. 6) 施建築一和宇慶組 (67,472 ドル)、設備一中江電気設備 (15,780 ドル)
- 鏡ヶ丘養護学校増築 (1971. 12. 17 ~ 1972. 5. 29) 施建築一仲村組 (67,400 ドル)、設備一大謝名電水舎 (7,050 ドル)
- 南部農林高校 (1971. 12. 17 ~ 1972. 6. 3) 施金城組 費 44,617 ドル
- 久米島高校増築 (1971. 12. 20 ~ 1972. 5. 27) 施山三組 費 33,950 ドル

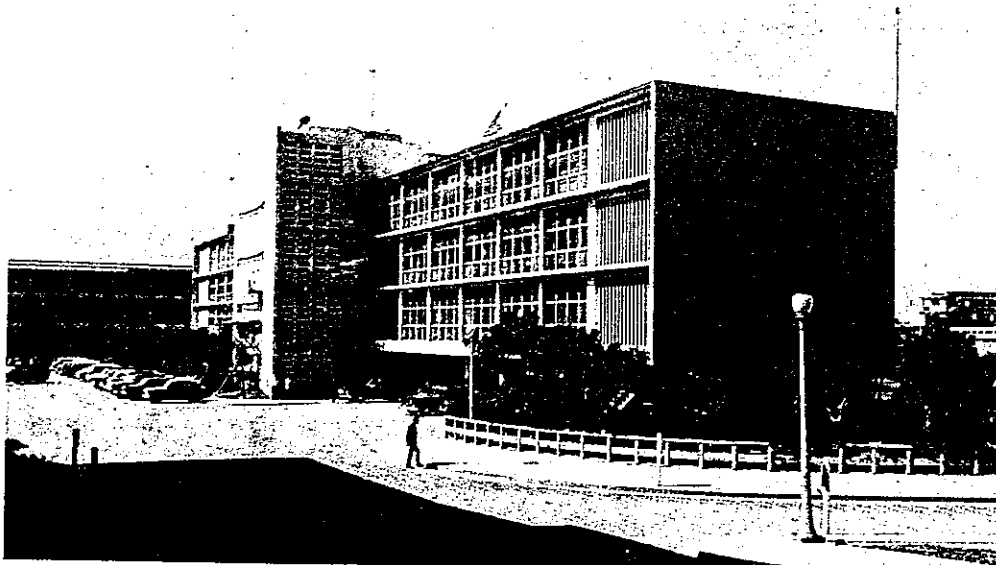
- 宮古高校増築 (1971. 12. 10 ~ 1972. 3. 28) 施徳米組 費 145,500 ドル
- 沖縄海員学校本館その他増築 (1972. 1. 10 ~ 1972. 6. 7) 施建築一伊是名組 (204,400 ドル)、電気一新琉電工 (16,500 ドル)、衛生一中部ユティリティ (16,180 ドル)
- 八重山高校 (1972. 1. 10 ~ 1972. 6. 22) 施建築一大浜実業 (47,150 ドル)、設備一新城電気店 (4,255 ドル)
- 沖縄工業高校 (1972. 1. 20 ~ 1972. 6. 25) 施建築一田端建設 (132,500 ドル)、電気一相互電気 (11,500 ドル)、衛生一朝水電気商会 (7,300 ドル)
- 中部農林高校 (1972. 1. 20 ~ 1972. 7. 20) 施建築一島袋組 (96,436 ドル)、電気一大謝名電水舎 (6,350 ドル)、衛生一丸高電気工事社 (6,485 ドル)
- 公共職業補導所増築 (1972. 1. 24 ~ 1972. 5. 22) 施根路路工務店 費 33,000 ドル
- 宮古工業高校特別教室 (1972. 1. 21 ~ 1972. 6. 25) 施建築一丸盛組 (100,750 ドル)、電気一(資)日進電気 (31,800 ドル)、衛生一伊波勇徳 (8,780 ドル)
- 沖縄聾学校 (1972. 2. 7 ~ 1972. 6. 25) 施建築一喜納工務店 (53,500 ドル)、設備一栄電気水道工事社 (10,480 ドル)
- 婦人保護施設 (1972. 2. 10 ~ 1972. 6. 28) 施建築一弘建設 (94,750 ドル)、電気一興亜電気工業 (13,700 ドル)、衛生一工友社 (13,150 ドル)
- 沖縄海員学校講堂等 (1972. 3. 2 ~ 1972. 6. 25) 施建築一国吉組 (89,000 ドル)、電気一新琉電工 (8,550 ドル)、衛生一中部ユティリティ (10,500 ドル)
- 那覇職業訓練所 (1972. 3. 17 ~ 1972. 6. 25) 施金城工務店 費 43,301 \$ 75 ¢
- コザ看護学校宿舍 (1972. 3. 10 ~ 1972. 8. 26) 施建築一丸順組 (50,050 ドル)、電気一大謝名電水舎 (8,000 ドル)、衛生一翁長電気 (6,600 ドル) 設尾本設計 費 R.C造平屋 504 m²
- コザ看護学校校舎及食堂棟 (1972. 4. 7 ~ 1972. 10. 23) 施建築一伊是名組 (108,650 ドル)、電気一沖縄電気工事(株) (10,870 ドル)、衛生一朝水電気 (14,000 ドル) 設アジア設計 費 R.C造 2階 947.43 m²
- 糸満青年の家 (1972. 5. 2 ~ 1972. 10. 8) 施建築一仲村組 (75,400 ドル)、設備一朝水電気 (18,300 ドル)
- 水産試験場八重山支場施設拡充工事 (1972. 4. 5 ~ 1972. 10. 21) 施建築一沖水建設 (73,700 ドル)、電気一豊川電気 (3,600 ドル)、衛生一沖水電設 (20,000 ドル) 設狩俣設計 費 R.C造 2階 247.86 m²



▲ 渡久地署巡査駐在所 (年代不詳)



▲ 具志川村公衆衛生看護婦駐在所 (年代不詳)



◀ 行政ビル (1953年)



▶ 行政府ビル群 (1961年頃)